

第二十二回 貴族院議事速記録第十六號

明治三十八年二月二十三日(木曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第十六號 明治三十八年二月二十三日
午前十時開議

- 第一 明治二十九年法律第六十三號ノ有効期間ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第二讀會
- 第三 居留民團法案(政府提出案) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案(政府提出案) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 明治三十七年勅令第百七十七號承諾ヲ求ムルノ件(政府提出案) 會 議(特別委員)(長報告)
- 第八 賣藥稅法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第九 戶主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第十 醫師免許規則中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第十一 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(政府提出案) 第二讀會
- 第十二 衆議院議員選舉法中改正法律案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十四 衆議院議員選舉法中改正法律案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十六 傳染病豫防法中改正法律案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十八 登錄稅法中改正法律案(衆議院提出案) 第一讀會

- 第十九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十 畜牛結核病豫防法中改正法律案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第二十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十二 農會法改正法律案(衆議院提出案) 第一讀會
- 第二十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十四 外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル法律案(衆議院提出案) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第二十五 土地收用法中改正法律案(衆議院提出案) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第二十六 國有土地森林原野下辰申請期間ニ關スル法律案(衆議院提出案) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第二十七 裁判所構成法中改正法律案(衆議院提出案) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)

○議長(公爵德川家達君) 諸般ノ報告ハ本日モ省略イタシマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ玆ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

一去ル二十一日可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ同時ニ可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

鑛業法案

北海道一級町村及二級町村ナシテ租稅外國庫歲入ヲ徵收セシムル法律案

一同日特別委員會ニ於テ當選シタル委員長及副委員長ノ氏名左ノ如シ

醫師免許規則中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵萬里小路通房君 副委員長 高木 兼寛君

一同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

賣藥稅法案可決報告書

戶主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案可決報告書

醫師免許規則中改正法律案可決報告書

外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル法律案修正報告書

明治三十三年度決算ニ關スル決算委員長報告書(決議案三件ヲ具ス)

明治三十四年度決算ニ關スル決算委員長報告書(決議案三件ヲ具ス)

明治三十五年度決算ニ關スル決算委員長報告書(決議案二件ヲ具ス)

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治三十九年法律第六十三號ノ有効期間ニ關スル法律案

居留民團法案

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案

又同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

衆議院議員選舉法中改正法律案

衆議院議員選舉法中改正法律案

傳染病豫防法中改正法律案

登録稅法中改正法律案

畜牛結核病豫防法中改正法律案

農會法改正法律案

一昨二十二日特別委員會ニ於テ當選シタル委員長及副委員長ノ氏名左ノ如シ
裁判所構我法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵本莊 壽 巨君 副委員長 子爵黑田 和志君

會計法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵柳原 義 光君 副委員長 平山 成信君

一同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

國有土地森林原野下展申請期間ニ關スル法律案否決報告書

裁判所構成法中改正法律案可決報告書

又同日請願委員長ヨリ請願委員會特別報告第一號中左ノ三件ノ請願ヲ撤回

スル旨ノ報告書ヲ提出セリ

商業會議所法中改正ノ件

所得稅法中改正ノ件

礦業條例改正ニ關スル件

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第一ニ移リマス、明治三十九年法律第六十三號ノ有効期間ニ關スル法律案、第一讀會、內務大臣芳川子爵

明治三十九年法律第六十三號ノ有効期間ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十八年二月二十一日

衆議院議長松田正久

貴族院議長公爵德川家達殿

明治三十九年法律第六十三號ノ有効期間ニ關スル法律案

明治三十九年法律第六十三號ハ同法第六條ノ期限後ニ於テモ平和克復ノ翌
年末日迄仍其ノ效力ヲ有ス

〔國務大臣子爵芳川顯正君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵芳川顯正君) 諸君、唯今問題トナリマシタ六十三號法律ノ
效力ヲ延期イタサウト云フ案デゴザイマスルガ、抑此案ハ明治三十九年ノ創
設ニ係ッタモノデゴザイマス、三箇年ノ間ノ有効期間ヲ極メテゴザイマシタ
ガ、之ヲ臺灣ノ情況ニ照シマスルト、尙將來ニ向ッテ存續スルノ必要ガゴザイ
マシタ、其期間ノ終ル時即チ明治三十二年ニ於キマシテ延期ノ協賛ヲ求メマ
シタデノアリマス、其延期ノ期間ノ終ル時、三十五年ニ於キマシテモ尙此法律
ヲ將來ニ必要トスルコトガ從前ニ異リマセヌデ、更ニ協賛ヲ求メテ延期ス
ルコトニナリマシタノデアリマス、然ルニ今同モ亦其期間ヲ或ル期限ノ間延
長シテ以テ有效ナラシメムト云フコトノ御協賛ヲ仰グ次第デゴザイマス、
斯ク再三延期ヲ要求イタシマスルト、未來永劫期限ナク如キ延期ヲ要求
シナケレバナラヌト云フヤウナ御考モ出マセウト存ジマスルガ、コハデ一事
申述ベテ置キマシタイハ、第十六議會ニ於キマシテ第二回ノ延期ヲ要求イタ
シマシタ當時ニ於キマシテハ、政府ニ於テモ此法律ノ完全ナラザルコトヲ覺
知イタシマシタニ依リマシテハ、此再度ノ延長……延期ノ盡キマスル時ニ於
テハ更ニ臺灣ノ統治ニ恰當ナル法律案ヲ創定イタシテ以テ諸君ノ協賛ヲ仰ギ
タイト云フ考デアッタノデアリマス、爾來銳意其恰當ナル法案ノ起草ニ取掛
ッテ居リマシテ、此議會ニハ必ズヤ提出イタサウト云フ考デゴザイマシタガ、
其起草未ダ全ク稿ヲ終ヘマセザル時ニ際會イタシマシテ、此時局ニ際會イタ
シタノハ臺灣ノ統治者タル總督ガ遂ニ出征ヲ致サナクテハナラヌト云フ次第
ニナリマシテ、今日ハ出征中デアリマス、其起草ヲ、稿ヲ全ク成シ得ナカッ
タノハ甚ダ遺憾デゴザイマス、玆ニ於テ更ニ其起草ヲツイ完成ヲ致シタイト
ハ考ヘマシタナレドモ、御承知ノ如ク現任總督ハ臺灣ニ於テ多年ノ間奉職ヲ
致シ、臺灣ノ事情ニハ精通ヲ致シ、經驗モ重ネテ居リマスノデ、願クハ經驗
ヲ積ミ事情ニ精通シタルモノナシテ完成ヲ告ゲンメタナラバ果シテ恰當ナル
案ガ出來マセウト、政府ハ信ジマスノデアリマス、之ニ依リマシテ唯今出征

中デアリマスルカラ、平和克復シテ同人ノ歸朝ヲ待ッテ從前ノ仕掛リノ規定ヲ完成セシメマシタナラバ、完全ナルモノガ出來マセウト信ジマシタニ依リマシテ、ソレ故ニ更ニ平和克復ノ翌年マデ此六十三號ノ效力ヲ有效ナラシメタイト云フ法案ヲ提出イタシマシタノデアリマス、理由ハ上來申述ベマシタ事情ニ異リマセヌノデゴザイマス、願クハ御審議ヲ下スッテ速ニ御協賛アラムコトヲ切望イタシマスノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセネバ次ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第二、特別委員ノ選舉、特別委員ノ選定ハ議長ガ致シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ議長ガ選定イタシマス、此際諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、本日ノ委員付託ノ法案ハ大分澤山ゴザイマスガ、皆是ハ議長ガ特別委員ヲ選定シテ御異存ナイト心得テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ一々伺ヒマセヌ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三、居留民團法案、第一讀會

居留民團法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十八年二月二十一日

衆議院議長松田正久

貴族院議長公爵德川家達殿

居留民團法案

第一條 專管居留地、各國居留地、雜居地其ノ他ニ住居スル帝國臣民ノ狀態ニ依リ外務大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ地區ヲ定メ其ノ地區内ニ住居スル帝國臣民ヲ以テ組成スル居留民團ヲ設立スルコトヲ得
居留民團ノ廢置分合又ハ其ノ地區ノ變更ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 居留民團ハ法人トシ官ノ監督ヲ受ケ法令又ハ條約ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務及法令、條約又ハ慣例ニ依リ之ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 居留民團ニ吏員及居留民會ヲ置ク

第四條 居留民會ノ組織、居留民團吏員又ハ居留民會議員ノ任免、選舉、任

期、給與及職務權限等ニ關スル事項並居留民團ノ財産、負債、營造物、經費ノ賦課徵收及會計ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 居留民團ハ領事、公使及外務大臣順次ニ之ヲ監督ス但シ土地ノ情況ニ依リ第二次ノ監督ヲ省略スルコトヲ得

前項監督ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 居留民團設立ノ際其ノ地區内ニ住居スル帝國臣民ノ共同財産及負債ノ處分其ノ他本法施行ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員珍田捨巳君〕

○政府委員(珍田捨巳君) 唯今御審議ニ上ボリマシタ所ノ居留民團法案ハ至極簡單ナ法律案デゴザイマス、其目的ト致シマスル所ハ外國ニ於ケル居留民中ニ就キマシテ一定ノ團體ニ對シテ法人タルノ資格ヲ公認スルト云フコトニ歸著スルノデゴザイマス、其本案ヲ提出イタシマシタル理由ハ御手許ニアリマスル所ノ理由書ニ述ベテゴザイマスル通りノ次第デゴザイマシテ、要スルニ此外國ニ於ケル我が居留民ガ、殊ニ清韓兩國ニ於ケル我が居留民ガ近來ニ至リマシテ其人口ニ於キマシテモ、從ッテ又其利益關係ニ於キマシテモ頗ル顯著ナル進歩發達ヲ致シタノデゴザイマス、是等ノ事實ヲ顧ミマスレバ此際ニ於キマシテ本案ノ如キ制度ヲ設ケマスルコトハ居留民團體ノ利益ヲ現在ニ保護シ之ヲ進歩スルタメ、又同時ニ其發達ヲ將來ニ期スル爲ニ極メテ適切ナ措置デアルト思ヒマスル、ノミナラズ實ハ今日トナリマシテハ最早一年ヲ緩ウスベカラザル急務ト政府ニ於テハ認メテ居リマスルノデゴザイマス、就キマシテハ會期切迫ノ今日デハアリマスルガ、成ルベク速ニ御審議ヲ遂ゲラレテ御協賛アラムコトヲ切望イタスノデゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセネバ議事日程第五ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案、第一讀會

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十八年二月二十一日

衆議院議長松田正久

貴族院議長公爵德川家達殿

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法

第一條 本法ニ於テ在外指定學校ト稱スルハ在外國本邦人ノ爲ニ設置シタル學校ニシテ外務大臣及文部大臣ノ指定シタルモノヲ謂フ

第二條 府縣立師範學校校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ハ第一條、第八條、第十條第二項、第四項、第十六條、第十七條第一項、第二十條及第二十一條ヲ除クノ外在外指定學校ノ職員及其ノ遺族ニ關シ之ヲ準用ス但シ同法ニ規定スル府縣知事ノ職務ハ領事官之ヲ行フ
在外指定學校ノ職員ノ資格並其ノ就職及退職ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法、府縣立師範學校校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法、明治二十九年法律第十三號明治三十三年法律第七十七號又ハ本法ニ依リ退隱料ヲ受クル者在外指定學校ノ職員ト爲リ退職現時ノ俸給額ト同額以上ノ俸給ヲ受クルトキハ其ノ間退隱料ノ支給ヲ停止ス

第四條 在外指定學校ノ職員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退隱料ヲ受クル資格ヲ失フ

一 年齡六十歳ニ至ラスシテ自己ノ便宜ニ因リ退職シタルトキ

二 服務上ノ義務ニ違背シ若ハ服務ヲ怠リ又ハ體面ヲ汚辱スルノ所爲アリタル爲其ノ職ヲ解カレタルトキ

三 教員免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタルトキ

四 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

五 信用若ハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シ罰金ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレタルトキ

六 破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルトキ

第五條 本法ニ依リ退隱料ヲ受クル者及前條各號ノ一ニ該當スル者ニハ退職給與金ヲ給セス

第六條 明治二十九年法律第十三號ハ第一條、第三條、第四條及第五條ヲ除クノ外在外指定學校ノ職員ニ關シ之ヲ準用ス

在外指定學校ノ職員ノ在職年月數ト公立學校ノ學校長、正教員、舍監及書記ノ在職年月數トハ退隱料、扶助料及扶助金ノ支給ニ關シ相互通算ス

第七條 本法ニ依リ支給スヘキ退隱料、退職給與金、扶助料及扶助金並其ノ支給ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス

附則

本法ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員澤柳政太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(澤柳政太郎君) 本案ハ韓國ニ於キマシテ日本人ノ爲ニ設置シタル學校ノ位置ニ付キマシテ之ヲ指定シ、其指定サレタ學校ノ職員ニ對シマシテ退隱料ノ制、其遺族ニ對シマシテハ扶助料ノ制ヲ設ケタイト云フ趣意デアリマス、段々箇條モ相當ニゴザイマスルシ他ニ幾種ノ法律ヲ引用シテ居リマスガ、其要點ハ唯今申上ダダノニ過ギナイ次第デゴザイマス、此事ニ付キマシハ段々韓國ニ於テ設置シタル所ノ學校ニ於テ善良ナル教員ヲ得ルコトガ出來ナイ、之ガ方法ヲ講ジテ貰ヒタイト云フコトヲ數回其希望ヲ述ベマシテ、政府ニ於テモ之ヲ調査シ其必要ヲ認メマシテ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、尙委シイコトハ委員會ノ方ニ於テ申述べタイト思ヒマスルガ、ドウゾ御審議ノ上、御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第七ニ移リマス、明治三十七年勅令第七十七號承諾ヲ求ムルノ件、特別委員長報告、特別委員長坊城伯爵

明治三十七年勅令第七十七號

右承諾スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月十五日

右特別委員長

伯爵坊城 俊章

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵坊城俊章君演壇ニ登ル〕

○伯爵坊城俊章君 唯今議題ニ上ボリマシタ所ノ明治三十七年勅令第七十七號承諾ヲ求ムル所ノ提出案デゴザイマス、是ハ此提出ノ理由ト云フモノハ紙ノ末ニゴザイマスル通りノ次第デゴザイマシテ、即チ現行規定ノ不備ナル所ヲ補ヒ且サウシテ其取締ヲ完クシヤウト云フ所ノ目的ニ外ナラヌノデゴザイマシテ、實ニ是ハ他ノ外國ハ固ヨリ……他ノ外國ニ於キマシテモ何デスガ韓國及滿洲ニ於キマシテハ最モ其必要ヲ見ラレマスルヨリシテ此勅令ヲ發セラレタ次第デゴザイマシテ、實ニ緊急已ムヲ得ヌ次第デ、委員會ニ於キマシ

テハ満場一致ヲ以テ可決シタ次第ゴザイマス、右ハ極簡單ナモノデゴザイマスルデ、是ハ委員會ニ於キマシテモ先刻……唯今申シマス通り全會一致ヲ以テ承諾ナスベキモノト議決イタシマシタ次第ゴザイマス、何卒諸君御調査ノ上、速ニ承諾アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 御發言ガゴザイマセネバ、採決イタシマス、承諾ナ與ヘテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ承諾ヲ與フルコトニ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第八ニ移リマス、賣藥稅法案、第一讀會ノ續、特別委員長報告、特別委員長廣澤伯爵

賣藥稅法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月二十一日

右特別委員長

伯爵廣澤 金次郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵廣澤金次郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵廣澤金次郎君 唯今議題ニ上ボリマシタル賣藥稅法案特別委員會ノ經過ヲ御報告ニ及ビマス、本案ノ委員會ハ去ル二十一日ニ開會イタシマシテ全會一致ヲ以テ衆議院修正ノ如ク可決シタ次第ゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ政府委員ノ説明モアリマシタシ、又委員カラ種々ノ質問モ出マシテ、其要領ヲ簡單ニ申上ゲマスレバ、此賣藥稅法案ハ第一ニ申上ゲテ置キマス必要ガアリマスノハ、是ハ増稅ノ案デハアリマセヌノデ、明治十五年カラ制定ニナツテ居リマス賣藥印紙稅規則ノ改正デゴザイマシテ、此本議會ニ此法案ガ提出ニナツタ理由ハ、今日マデ有リマス賣藥印紙稅規則ナルモノハ、他ノ稅法案ニ比較イタシマシテ先ツ第一ニ稅法ニ必要ナル制裁ノ規定ガ無いノト、ソレガ一ツ、其他ノ稅法ニ比較シテ非常ニ不備ナ點ガアリマスルノデ、本案ヲ提出サレタト云フコトデアリマス、次ニハ今日ハ我國ノ賣藥モ年々外國ノ輸出ガ非常ニ増加シテ參リマス趨勢ニ拘ラズ、今日マデハ之ヲ免稅スルト云フ規定ガ無いノデアリマス、此賣藥ノ輸出ヲ獎勵スル必要ガアルト云フ

ノデ本案ニハ外國輸出品ニハ免稅スルコトニナツテ居リマス、モウ一ツノ點ハ今日マデハ賣藥ノミニ課稅シテアリマシタガ、此法案ガ制定サレマスルト此賣藥ノ課稅ヲ賣藥類似品ト云フモノニマデ及ボスト云フコトニナルノデアリマス、此賣藥類似品ト云フコトニ付キマシテハ委員會デモ此範圍ガ如何ナモノデアルカト云フコトニ付キマシテハ、委員ノ諸君ヨリ種々質問ガ出マシテ、其質問ニ政府ノ答ヘラレタ要領ヲ申上ゲマスレバ、政府ハ此類似品ナルモノハ本案ノ第十條ニアリマスル如ク命令ノ定ムル所ニ依ルト云フコトニナツテ居リマス、……イヤ是ハ間違デゴザイマシタ、此賣藥類似品ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムル第十九條デゴザイマス、此命令ト云フモノハ如何ナル範圍マデ及ボサル、カト云フコトヲ政府委員ニ尋ネマシタ所ガ、是ハ此類似品ナルモノハ藥品ヲ配分シテ特種ノ效驗ヲ主張スルモノノミニ及ボス積リデアアル、即チ醫藥デアルトカ或ハ滋養品ノ如キ物ニハ及ボサヌ積リデアアル、且又此類似品ヲ定ムル前ニ於キマシテハ內務省ノ衛生局トハ交渉ノ上定ムルト云フコトデアリマス、モウ一箇條此法案ノ中デ質問ガ出マシタ所ハ此外國ニ輸出ノ賣藥ニ對シテノ免稅ハ如何ナル方法ヲ以テスルカト云フコトニ付テ質問モ出マシタガ、是ハ今日既ニアリマス骨牌稅ノ輸出免稅ノ規定ヲ準用スル、即チ骨牌稅ニアリマス如キ手續ヲ以テ免稅ニナルト云フコトデアリマス、次ニ申上ゲマスノハ、衆議院ノ修正ニ付テ簡單ニ申上ゲヤウト考ヘマスガ、衆議院ノ修正ハ大分各條ニ涉ッテ修正ガアルヤウデアリマスガ、其重モナル點ハ唯二ツデアリマス、即チ第一條ノ修正ハ衆議院ニ於テ、是マデノ印紙稅ノ列記ノ法ニナツテ居リマスガ、是デハ賣藥營業者ニ於テ甚ダ迷惑ヲ感ズル、故ニ他ノ稅法ノ如ク之ヲ一ツ從價稅ニスル方ガ賣藥營業者ニ取ッテ甚ダ便利デアルシ、且又政府ノ收入モ之ニ依ッテ減ジナイト云フコトデ、政府ニ於テモ此修正ニ同意セラレテ衆議院ノ修正デ定價一割ト云フコトニナツテ居リマス、之ニ付テ委員會ニ於テモ之ガ爲ニ收入ヲ減ジハシナイカト云フ質問ガアリマシタガ、政府モ果シテ之ガ爲ニ收入ガ減ズルト云フコトハ言ヘナイ、併ナガラ今日ノ如キ物價ノ騰貴ノ趨勢ニ鑑ミマシテ多分是カラ收入ガ減ズルコトハ無いダラウト云フノデ、政府モ同意セラレタト云フコトデアリマス、假令收入ガ減ジマシテモ本案ノ類似品ニ課稅シマスカラ其方カラ來ル收入デ十分埋合ハスコトガ出來ル、ト云フコトデ政府モ同意サレタト云フコトデ、委員會ニ於テモ衆議院ノ修正ヲ認メタ次第デアリマス、モウ一ツノ修正ハ第

七條デアリマスガ、「賣藥ヲ所持スルコトヲ得ス」ト云フノヲ「賣藥ヲ販賣スルコトヲ得ス」ト云フコトニ衆議院ノ修正ニナツテ居リマスガ、是ハ矢張り賣藥營業者ノ今日ノ情況ニ鑑ミ又便利ヲ圖ツテ斯ウナッタノデ、富山縣ノ如キ非常ニ賣藥ヲ製造スル所ニ於テハ「所持スルコトヲ得ス」ト云フコトニナツテハ營業者ハ非常ニ迷惑シ其爲ニ賣藥ノ事業モ發達セヌト云フコトデ、之ヲ「販賣スルコトヲ得ス」ト云フコトニ修正シテ、是モ政府ハ同意ヲサレタト云フコトデアリマス、其他各條ニ互リマシテ衆議院ノ修正モアリマスガ、是ハ第七條ノ修正ノ結果デアリマシテ、他ニ理由ノアル修正デハゴザイマセヌ、本案ニ付キマシテ委員會ニ於テ審査シマシタ所ハ大體右申シタ如キモノデアリマシテ、前ニ申シマシタ通り委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ衆議院修正ノ如ク可決シタ次第デアリマス、ドウゾ諸君ニ於キマシテモ委員會ノ報告ノ如ク御可決アラムコトヲ希望シマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、二讀會ニ移シテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ二讀會ニ移スコトニ致シマス

○子爵堤功長君 直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ二讀會ヲ開クト云フ堤子爵ノ動議ニ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ第二讀會ヲ開キマス、全部ノ問題ニ供シマス、本案御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ第二讀會ハ終リマシタ

○伯爵廣澤金次郎君 直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳原義光君 贊成

〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ二讀會ヲ開イテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 第三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議通り御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ委員會報告ノ通り可決

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第九ニ移リマス、戸主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案、第一讀會ノ續、特別委員長報告、副委員長長岡子爵

戸主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月二十一日
右特別委員長
公爵二條 基弘

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵長岡護美君演壇ニ登ル〕

○子爵長岡護美君 本日ハ委員長ノ二條公爵ガ此席ニマダ御出デニナツテ居リマセヌデ、私が二條公爵ニ代ッテ御報告ヲ致スノデアリマス、此案ハ御覽ノ通り誠ニ簡單ナル案デゴザイマシテ、別ニ申上ゲル程ノコトモ案ニ付テハ無イノデアリマスガ、委員會ハ一回開キマシテ、少シ質問ハアリマシタガ、直ニ可決シテ散會シタル次第デアアルノデアリマス、此案ハ此明治十七年ノ華族令ニ依リマスト爵ハ其身分ニ屬スル世襲ノ榮典デアリマスカラ、戸主デナイト爵ヲ享有シテ居ルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレガ爲ニ戸主ニ非ザル者ガ授爵ノ榮典ヲ荷ヒマシタ時ニ之ヲ享有スルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、即チ其特ナル勅旨ヲ以テ爵ヲ授ケラレタ者ガ即チ其榮典ニ與カルコトヲ全ウスルコトガ出來ナイト云フコトニ過ギナイノデアリマス、ソレガ爲ニ本案ハ今度出サレタ、所デ又民法中ノ分家ニ關スル規定等モ矢張り前項ノ場合ニ之ヲ準用スルデアッテ即チ民法上ニ關スルコトモ矢張り其目的ヲ以テ今度改正サレラダケニ止マルノデアリマス、デ如何ナル譯デ此際提出ニナラレタカ、何カ必要ナル理由ガアルカト云フコトヲ本員等ハ政府委員ニ尋ネマシタ所ガ、其所ハ今日御話スルコトニ行カヌト云フコトデアリマスカラ、其先キノコトハ本員等ハ別ニ質問ヲ致サヌノデアリマスガ、誠ニ簡單明瞭ナル

コトデアリマシテ、又斯様ナ場合ハ決シテ澤山ニ起ルコトデハナイ、僅ニ是マデノ例モ一二アル位デアラウト云フ政府委員ノ話デアリマシテ、別ニ申上グルコトハ無いノデアリマス、第二條ノ方ハ即チ戸籍法ニ依ッテ戸籍ノ手續等ヲ玆ニ掲ゲタダケノコトデアリマスカラ、私ハ即チ是ダケヲ以テ諸君ニ御報告ヲ止メヤウト思フノデアリマスカラ、若シ此手續等ニ付テ政府委員ニ御尋ネノ方ガアレバ、政府委員ニ御尋ネノ方ガ却ッテ明瞭デアリマセウカラ、私ハ是ダケノ報告ニ止メ置キマセウト思ヒマス、ドウカ此案ハ明瞭簡單ナル法案デアリマスカラ、若シ滿場諸君ノ御異議が無ケレバ議會省略ヲ以テ直ニ可決アラムコトヲ希望シマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、二議會ニ移シテ然ルベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵堤功長君 直ニ二議會ヲ開カレムコトナ……

○伯爵大原重朝君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ二議會ヲ開イテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ直ニ二議會ヲ開キマス

○伯爵柳原義光君 チョット質問ガゴザイマスガ、第二條ノ中ニ「辭令書」ト云フコトガゴザイマスガ、是ハ辭記ノ寫ヲ指スノデゴザイマスガ、例ヘバ特旨ヲ以テ華族ニ列スルト云フ御沙汰書ノ如キモノヲ指スノデゴザイマスガ、チョット伺ヒタウゴザイマス

〔政府委員石渡敏一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(石渡敏一君) 聽落シマシテゴザイマスガ、甚ダ失禮デアリマスガ、聽落シマシタカラ、モウ一應ドウゾ……

○伯爵柳原義光君 第二條ノ中ニ「辭令書」ト云フ文字ガゴザイマスガ、是ハ其辭記ノ寫ヲ指スノデアリマスガ、或ハ特旨ヲ以テ華族ニ列セラレルト云フ御沙汰書ノ如キモノヲ指スノデゴザイマスガ

○政府委員(石渡敏一君) 寫デゴザイマス

○伯爵柳原義光君 ドツチノ寫デスカ

○政府委員(石渡敏一君) 前ニ仰シヤイマシタ方ノ……

○伯爵柳原義光君 辭記ノ方ノ寫デゴザイマスガ

○政府委員(石渡敏一君) ハイ

○議長(公爵徳川家達君) 全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ是ニ於テ第二議會ハ終リマシタ

○子爵平松時厚君 直チニ第三議會ヲ開カレムコトナ……

〔賛成「ト呼ブ者多シ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三議會ヲ開イテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 第三議會ヲ開キマス、原案御異存ナイモノト見テ宜シウゴザイマスガ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ全部原案可決

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十二移リマス、醫師免許規則中改正法律案、第一議會ノ續、特別委員長報告、特別委員長萬里小路伯爵

醫師免許規則中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月二十一日

右特別委員長

伯爵萬里小路通房

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵萬里小路通房君演壇ニ登ル〕

○伯爵萬里小路通房君 本案ニ付キマシテ委員會ノ經過並結果ヲ御報イタシマス、一昨二十一日委員ハ正副委員長ノ互選ヲ致シマシテ、引續イテ委員會ヲ開キマシタ、續イテ政府委員ノ説明ヲ聽キ、細カニ格別ナ、本案ニ付キマシテノ質問ハゴザイマセナシタ、唯學科ノ試験科目ノコトナドニ付キマシテハ一二箇條質問ガゴザイマシタケレドモ、本案ノ箇條ニ付キマシテハ一ツモ質問ハゴザイマセナシタ、此案ハ御承知ノ如ク醫師免許規則第三條ノ改正、極

簡單ナル案デゴザイマシテ、御承知ノ如ク官立、公立醫學校並文部大臣ノ指定シタル私立醫學專門學校生徒ノ卒業シタル者ハ無試験デ醫師開業免狀ヲ下付サレルコトニ成リタイト云フ案デゴザイマス、既ニ官立、府縣立ノ學校ノ生徒ノ卒業シタル者ハ別段ニ試験ヲ要セズシテ免狀ヲ得ラレル譯デアリマスガ、唯此私立專門學校ノコトニ至ッテハ此點ハ無イ、然レドモ其卒業生ニ至ッテハ、學識又成績等ニ於キマシテハ少シモ官立學校ノ者ニ變ッタコトハ無イ譯デアリマス、依ッテ即チ此三條ノ改正ノ加クナリタイト云フガ趣意デゴザイマス、依ッテ委員會ハ一ノ異議モ無ク、言論モ無ク全會一致ヲ以テ可決スベキモノト極マリマシタ、右様ノ次第デアリマスルカラ、ドウカ諸君ニ於キマシテモ御賛成アッテ速ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス、尙御質問ノコトガゴザイマシタナラバ私ヨリ御答ノ出來マスコトハ申上ゲマスガ、例ノ通りドウゾ政府委員ヘ御質問ヲ願ヒマス

○男爵小澤武雄君 質問ヲ致シタイ、此文部大臣ノ指定シタル私立醫學專門學校ト申スノハ今日既ニ存在シテ居リマスル譯デゴザイマスカ、アリマスレバ其學校ノ數ヲ承リタイ、又專門學校ノ程度ハ官立ノ醫學專門學校ト同様な程度ニアルヤ否ヤ、此二點ヲ承リタイ、即チ特別委員長カラデモ政府委員カラデモ、ドチカラデモ宜シイ、御答辯ヲ願ヒマス

〔政府委員木場貞長君演壇ニ登ル〕

○政府委員(木場貞長君) 唯今小澤男爵カラノ御質問ハ政府委員カラ答ヘタ方が便宜ト思ヒマスカラ私ガ申上ゲマス、今日專門學校令ニ依リマシテ成立ッテ居リマスル所ノ私立ノ專門學校ハ二校シカゴザイマセヌ、而シテ此二校ノ中デ何レヲ指定スルカ、或ハ總テヲ指定スルカ、若クハ二ツ共ニ指定セヌカト云フコトニ付キマシテハ、マダ今日此所デ明言スルハ早カラウト思ヒマス、但シ此等ノ私立學校ヲ指定シマスルニ付キマシテハ餘ホド嚴重ナル内規ヲ定メテ、ソレニ依リマシテ指定スル積リデゴザイマスルガ、其條件ノ一二ヲ申シマスルト、例ヘバ屍體ガ……解剖ニ付スベキ所ノ屍體ガ一年ノ中ニ二十以上ハ無クテハナラヌトカ、或ハ患者ノ數ガ何人以上ナクテハナラヌトカ、ソレカラ規則ノ認定ナドト云フヤウナコトハ無論デアリマスガ、餘ホド設備ノ完成迄申ス如キ實際上ノ不都合ノ無イダケノ病人、解剖等ノコトマデニ立入ッテ十分ノ調べナスル積リデアリマス、ソレニ適合シナケレバ今申スニツノ專門學校ナリ又此後ニ出來ル學校ナリ否定シテ差支ナカラウト思ヒマス

ス、果シテ是等ノ條件ニ合ウテ居ルヤ否ヤハ尙此法律ノ出マシタ以上、細カニ規定イタシマス積リデゴザイマス、而シテ其程度ノ如何ト云フコトニ至ッテハ何レモ公立學校ト同等以上デ無ケラニヤ無論指定セヌ積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○伯爵大原重朝君 此案ハ極明瞭ナ案デ簡單ナルコトデゴザイマスカラ、讀會省略ヲ以テ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○子爵堤功長君 賛成

○子爵三島彌太郎君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

〔此他「賛成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成ガアッタト認メマス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無ケレバ原案可決

○議長(公爵德川家達君) 次ハ議事日程第十一ニ移リマス、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案、第二讀會、全部ヲ問題ニ供シマス

〔武井守正君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 武井君ハ……

○武井守正君 意見ヲ述ベマシテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

〔武井守正君演壇ニ登ル〕

○武井守正君 私ハ前年因幡國ニ暫ク居住イタシマシタ爲ニ本案ノ如ク因幡、伯耆ガ廣島ニ附キマシテハ、地方人民ガ非常ニ困難ヲ致シマスノデゴザイマス、抑々控訴院ヲ各地ニ配置セラレタト申スノハ固ト人民ノ便利ヲ計ッテ設置サレタルニ相違ナイノデゴザイマスガ、擬控訴院ヲ置カレテ見マスルト事務ノ分配トカ何トカ云フコトカラ固ト人民ノ便利ヲ計ラレタノヲ忘レラレルノデハゴザイマスマイケレドモ、最初ノ精神ハ幾ラカ失ハレレデハ

ナイカト存ジマスル、前ハ因幡、伯耆モ廣島ニ屬シテ居リマシタ、所ガ非常ノ不便利デアリ非常ノ不經濟デアル爲ニ人民ガ苦ンデ多年之ヲ訴ヘマシタノデゴザイマス、多年訴ヘマシタ結果、二十八年四月ニ至ッテ初メテ事情不憫ナリト政府モ認メラレテ大阪へ管轄ヲ換ヘラレマシテ、其大阪へ換ヘラレマシタ爲ニ人民ハ非常ニ安堵ヲ致シテ居リマスル今日、又舊ノ廣島へ戻スト云フコトハ如何ニモ事情ヲ酌マレナイ話ダト存ジマス、ナゼサウ不便利デアル、ナゼ費用ガサウ澤山掛ルカト申シマスルト、廣島ハ事ガ少ウゴザイマスカラ有數ナ辯護士ガサウ澤山ニハ棲息イタシマセヌ、全ク辯護士ガ無いデハゴザイマスマイガ、大阪ホドニ屈指ノ、宜イ人ガ澤山ニ居リマセヌカラ、大阪カラ辯護士ノ出張ヲ請ヒマスルニ依ッテ辯護士モ大阪ニ居ッテ職業ヲ致シマスレバ數十件自分デ引受ケテ居テ日々ニ之ヲ捌キマスルカラ、一件ニ對シマシテ左ホド辯護ノ料ヲ澤山ニ取ルト云フデモアリマセヌケレドモ、廣島へ特ニ出張スルコトニナリマスレバ數日間其一件ノ爲ニ身體ヲ費シマスル譯デゴザイマスルカラ、餘分ナ報酬ヲ受ケナケレバ引受ケテ行クコトガ出來マセヌ、是ハ誠ニ無理デナイ話デアリマス、ソレガ爲ニ二倍モ三倍モ、大阪デシマスルヨリモ辯護士ノ費用ヲ二倍モ三倍モ出シテ辯護士ヲ依囑シナケレバナラヌト云フ費用ガ掛ルノデゴザイマス、又辯護士ニ託シタカラソレデ宜イカト申シマスレバ、其事件ニ對シマシテ取調ヲシ面晤ヲスル爲ニハ始終辯護士ニ相會スル必要ガアルノデゴザイマスガ、是ガ大阪デアリマスルト商業ノ序デニ始終往復ヲ致シマスルカラ、特ニ行クニアラズシテ其用務ノ序デニ商業ノ事モ辨ジテ來ルコトガ出來マスガ、廣島ニハ何ノ用モ無い所デアルカラ、態ソレガ爲ニ廣島マデ出向クト云フ譯ニナリマスカラ、是モ甚ダ不便利デアリ困難デアリ且ツ費用モ少クナイト云フ譯ニナルノデゴザイマス、元ト控訴院ヲ置カレマシタ趣旨ハ地方人民ノ便利ヲ計ル爲ノモノデアルガ、ソレガ却ッテ人民ヲ泣カセル、人民ヲ困メルト云フ器ニ今日ハナルノデゴザイマス、若モ斯ウ云フコトニナリマスレバ實ニ人民殺シ法ト申サナケレバナラヌノデゴザイマス、デ私ハ因幡國ニ住ミマシテ、アソコノ事情ヲ能ク承知シテ居リマスルカラ、此法案ニ對シマシテ修正ヲ致サウト存ジマシタノデゴザイマスルケレドモ、此政府案ニ贊成ノ御方ノ仰シヤルニハ、獨リソレハ因幡ノミデハナク、加能越ノ如キモ同様ニ苦痛ヲ感ズルノデアル、苦痛ヲ感ズルノデアルケレドモ、事務分配ノ爲ニハ人民ノ難苦グラキハ忍バナケレバナラヌ、獨リ因幡ノコト

チサウ主張スルガ、因幡チヤメルナラバ全部ヤメナケレバナラヌト云フ御話モゴザイマシタカラ、私ハ他ノ方ハサウ云フ不便ガアルトハ存ジマセナイダガ、因幡同様ニ皆不便ヲ感ジ經費ヲ増ササウデゴザイマスカラ、然ラバ修正ハヤメマシテ全部之ヲ三讀會ニ移サヌヤウニ致シタイト思ヒマス、ドウカ御贊成ナ……

○富井政章君 武井君ノ說ハ至極御尤ト感ジマスルニ依ッテ贊成ヲ表シマス

○奥山政敬君 我ハ反對ノ意見デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 奥山君ハ何デゴザイマスカ

○奥山政敬君 反對ノ意見ヲ表シタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ演壇へ御出デテ願ヒマス

〔奥山政敬君演壇ニ登ル〕

○奥山政敬君 諸君、我ハ武井君ノ否決ノ御說ニ反對ナスルノデゴザイマスルガ、簡單ニ其反對スル所ノ理由ヲ諸君ニ訴ヘヤウト思ヒマスル、武井君ノ言ハレマスルニハ、第一ニハ此因幡ノ人民ガ廣島控訴院ノ管内ニ相成リマシテハ不便ヲ感ズルト云フノガ第一ノ骨子ト承リマシタデゴザイマス、成ルホド人民ノ不便ト云フコトハ議場ノ多數ヲ制セムトスルニハ誠ニ好イ辭柄デアリマスルガ、私ノ考ヘマスル所デハ武井君ノ言ハレルヤウナコトハ全ク無イコトト信ジマスルノデアリマス、如何トナリマスレバ昨年ノ統計ニ依リマスト鳥取ヨリ大阪控訴院ニ控訴イタシマシタ數ハ九十九件デアリマスル、其中ニ商業上ノ取引ト云フモノハ二三ノ外無イヤウニ思ハレマスノデアリマス、又此訴訟ノ事ハ人民ガ直接ニ控訴院ニ參ッテ訴ヘルノデアリマセヌ、諸君ノ御承知ノ如ク辯護士ニ依頼セヌケレバナラヌノデアリマス、自ラ行ッテ訴ヘルコトハ無イノデアリマスカラ、人民ハ里數ガ少々遠クナッタ爲ニ不便ヲ感ズルト云フコトハ格別ナカラウト思ヒマスノデアリマス、ソレカラ大阪ノ如キハ宜イ辯護士ガ居ッテ、他ノ地方ニハ辯護士ガ無いト云フコトデアリマシタガ、辯護士ハ御承知ノ通り試験ニ及第シテソレノ各、自分ノ便利ナリト思考スル所ニ居ルノデアリマスカラ、是ハ同等ノ人ト見ナケレバナリマセヌ、又事件ノ輻湊スル所ニ多數ノ人が居ルト云フコトハ是ハ免レヌノデアリマス、矢張り控訴院ノ管内ガ殖エレバ其方ニ又人ノ殖エルト云フコトハ免レナイノデアリマスカラ、宜イ辯護士ガ用キラレルト云フヤウナコトハ格別價值ノ無イコトト信ジマスノデアリマス、サウシテ先年、二十八年ニ伊豫ノ松山ト因

伯即チ鳥取縣デアリマスガ、是ガ廣島ト大阪ト交換ニナッタデアリマスルガ、其時分ト今日ハ中國鐵道モ出來マシテ岡山カラ津山マデ鐵道ガ連絡シテ居ルノデアリマス、ソレカラ道路モ餘ホド改修ニナリマシタカラ、餘ホド便利チ感ジテ居ルノデアリマス、不便ト仰山ニ言フコトハ格別ナカラウト思ヒマスルノデゴザイマス、ソレカラ此問題ハ我ク長イ間大阪ノ方ガ餘リ廣イカラ成ルタケ控訴院ノ管轄ハ平均ノ出來ルダケハ平均シタイトハ從來考ヘテ居ッタノデアリマス、今回政府ヨリ始メテ此案ヲ提出セラレマシタガ、事務ノ分配ニ付テハ一方ニ非常ニ駿速ニ事務ガ抄取り、一方ハ左程イカヌト云フコトハ、ドウシテモ大ト小トノ關係デアリマスカラ、ドウシテモ是ハ免レヌト言ハナケレバナラヌノデアリマス、刑事ノ囚人ニ致シテモ一方ニ行ケバ半年モ掛ルト云フノガ一方ニ行ケバ三箇月デ済ムト云フヤウナコトハ往々アルノデゴザイマス、監獄ノ方ニモ多少利益ガアルト思ヒマスカラ、控訴院ノ存在スル以上ハ出來ルダケハ……人民ノ便利チ害スルノハ忍ビヌコトデアリマスガ、或ル程度ニ於キマシテハ控訴院ノ管内ハ平均スルヤウニシタイト云フ考ハ持ッテ居ルノデアリマス、現ニ御承知ノ通り各府縣ニ於キマシテモ成ルタケ平均スルヤウニ分配ガシテアルヤウニ思ヒマス、各府縣ノ中デモ或ハ一郡或ハ一村ノ如キハ甲ノ縣ニ附クガ便利トスルノガアリマセウガ、ドウシテモ分割上免レヌ所デアラウト思ヒマス、ソゴデ又人情ノ上カラ行キマシテモ、都ニ出ルガ宜イカ田舎ニ行クガ宜イカト言ヘバ、何人モ都ニ行クガ宜イ、大阪ガ宜イカ、名古屋ガ宜イカ廣島ガ宜イカト言ヘバ、先ツ以テ大阪ト言ハナケレバナリマセヌ、是ハ當然ノ事デアリマスカラ、今武井君ノ言ハレル所ノ人民ニ非常ノ痛痒チ感ズルト云フコトハ一向無イコトダラウト考ヘマスカラ、願クハ原案ヲ御賛成チ希望イタシマス

〔政府委員石渡敏一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(石渡敏一君) 唯今ノ御質問ノ第一ハ事務ガ多イト云フノハドウ云フコトカト云フ御問デゴザイマスカ

○子爵曾我祐準君 左様デハアリマセヌ、一モ二モナイ、唯一簡條デアリマ

ス「訴訟事件亦頗ル多クシテ他ノ控訴院ニ比シ其ノ均衡チ得ス」斯様ナ理由デアリマスガ、大阪ハ斯ノ如ク多イト云フコトニナッテ居リマスガ、東京ニ比シテドレ位多イカト云フコトデアリマス

○政府委員(石渡敏一君) 三十七年中ノ事件全數ヲ舉ゲマスルト、東京ハ六千二百二十三、大阪ハ六千五百九十件デアリマス、ソレカラ序デゴザイマスカラ申上ゲテ置キマスガ、名古屋ハ千五百七十五件、廣島ハ千六百五十八件デアリマス

○子爵曾我祐準君 唯今ノ數デゴザイマス、一方ハ六千二百二十何件、一方ハ六千五百九十何件、僅ニ三百件バカリノ差デゴザイマスナ

○政府委員(石渡敏一君) 三十七年ノハ左様デゴザイマス

○男爵小澤武雄君 質問チ致シマス、今度ノ改正ハ事務ノ分配チ程好クスル爲ニ斯ウ云フコトガ企テラレタト云フコトデゴザイマスガ、ソレハ成ルホド唯今曾我子爵ノ質問ニ對シテ御答ニナッタヤウニ、廣島ナリ名古屋ナリハ餘ホド事件ガ少イガ、サウ云フ事件ノ少イ所ヘモッテ行ッテ成ルタケ均一ニ近イヤウニシヤウト云フカラ此改正ガ出來ルノデアアル、今マデ何十年カ東京ナリ大阪ナリハ多クノ事件デ濟ンデ居ルノデアアル、然シテ見レバ今日之改正セヌデモ宜イノデ、今後ノ戦局ノ如何ニ依テハ政費ノ節減ノ必要ガアルカモ知レナイ、戦局ノ如何ニ拘ハラズ政費ノ節減ハ國民一般ニ希望シテ居ル所デアリマスカラ、寧ロ斯ウ云フ事務ノ分配チシヤウヨリカ廣島ナリ名古屋ナリトシテ置クノハ甚ダ不當デアルト云フナラバ、廢シテ大阪ナリ或ハ東京デゴザイマスガ、其宜シキニ依ッテ作ッタ方ガ寧ロ宜カラウト思フノデゴザイマスルガ、政府ハ到底政費ノ節減ト云フコトハ眼中ニ置カズ、ドウシテモ是ホドノ控訴院ガ繼續シテ置カレナクテハナラナイト云フ意思デアリマスルカ、ソレナ何ヒマス

○政府委員(石渡敏一君) ソレニ御答イタシテ置キマスルガ、大分長ク其間ニ色クノ問題ガアッタヤウニ思ヒマスカラシテ、其問題ニ付テ一ツ〳〵御答チシテ行ッテ見マセウ、若シ又足リマセヌデシタラドウカ質問チ願ヒタイ、此理由書ニ書イテアリマス所ノ「他ノ控訴院ニ比シ其ノ均衡チ得ス」ト申シマスルノハ、現在ノ法律ニ據リマスルト、大阪ノ控訴院ノ管轄スル地方裁判所ガ十四アリマス、名古屋、廣島ノ控訴院ノ管轄シマス地方裁判所ガ名古屋ガ三ツニ、廣島ガ四ツデアリマス、ソレデ大阪ノ控訴院長ハ十四ノ地方裁判

所ナ管轄シマスル結果、人ノ上カラ言ヒマスルト二千六百三十七人グラキノ
判事、檢事、書記ナ管轄シナケレバナラヌ、此出這入リガ中々多イノデアリ
マス、ソレデ殆ド此事務ノ爲ニ書記ナ一人使ッテ自ラ處分シテ行カナケレバナ
ラヌ、其上ニ裁判事務ヲ取扱フト云フコトニナレバドウモ監督ノ仕様が實ハ
無イノデアリマス、現在新聞ニ依リマスルト、大阪ノ控訴院長ニ對シテ大阪ノ
辯護士ガ無能デアルト言ッテ頻ニ唱ヘテ居ルト云フ話デアリマス、成ルホド此
言葉ハ少シ大キ過ギルノデアリマスガ、大阪ノ院長トナッテ裁判事務ノ監督
ナ爲シ、人ノ上ニモ監督ナ爲スト云フコトハ到底一人デハ出來難イノデアリ
マス、是ハモウ内ニ居ル者ガ數年來ノ事實ヲ認メテ居ル、當局者モ亦ソレヲ
認メテ居ル、ドウカシテ之ヲ變ヘナケレバナラヌト云フノデ、内デハ其説ガ
常ニアリマシタガ實行サレナカッタ、此案モ實ハ今日突然出マシタヤウデア
リマスルガ、司法省デ出來マシタノハ五年前ニ出來タ案デアリマス、ソレガ
色々事情ノ爲ニ今日マデ遲ナハッタノデゴザイマス、突然出シタノデモ無ケ
レバ又現在ノ儘デ裁判所ノ管轄ヲ置イテ宜イノナラバ決シテ出シハ致サヌノ
デアリマス、必要ニ迫ラレテ詰リ出シタ位デアリマス、ソレカラ名古屋控訴
院、廣島控訴院ハ廢シテハドウカト云フ御説モゴザイマスルガ、政府デハ今
日之ヲ廢ス見込ハ無イ、一タビハ廢サウト云フ者モ起シテ見マシタ、案モ立
テデハ見タノデゴザイマスルガ、之ヲ廢シタ結果ドウデアアルカトナルト、訴
訟人ニ不利益ヲ被ラセル、刑事ニ於テ監獄費、護送費ニ於テ今日ノ倍ニナリ
マス、減ズル所ハ何カト云フト、院長ト檢事長ノ俸給ガ餘ル、裁判所ノ取扱
フ事件ハ大阪ニ行クカ、東京ニ行クカ、二ツニシカ出ナイ、事件ハ減ラナイ
カラ判事ヲ減ス譯ニハイカヌ、院長、檢事長ヲ減シタ結果、ドノクラキ金ガ
餘ルカト云フト僅カ一萬圓幾ラデアリマス、費ス金ハ監獄費ノ爲ニ五六萬掛
ル、其外訴訟人ニ掛ル金高ガドノ位デアラウカ分ラヌ位ナヤウニナリマス、
寧ロ行政整理ト言ッテモ斯ノ如キ不經濟ナ減ジ方ハ宜シクナカラウト云フ今
日ハ考テ持ッテ居リマスデ、廢サウト云フ考ハ今日デハゴザイマセヌ

○子爵曾我祐準君 本員ハ段々政府委員ノ説明モ承リマスシ、又奥山君ノ説
モ承リマシタガ、武井君ニ賛成ヲ致シマス、此戰サノ最中ニ仰々シク變革ヲ
スルマデノ必要ハ無イト思ヒマスカラ、否決論者ニ賛成ヲ致シマス

○伯爵柳澤保惠君 政府委員ニ質問ヲ致シマス、唯今曾我子爵ノ御質問ニ依ッ
テ政府委員ハ大阪控訴院ノ件數ト東京控訴院トノ件數トノ御比較ハゴザイマ

シタガ、アレハ單ニ三十七年ノ話デアリマスガ、三十七年グラキデ大阪ノ訴
訟事件ガ多イトハ申サレマセヌカラ、少クモ過去十年間ノ件數並既ニ濟ンダ
所ノ件數ガ幾ラ、又件數ノ種類ナ何ヒタイ

○政府委員(石渡敏一君) 御質問ノ御求メノコトデゴザイマスルガ、政府デ
出シマシタ所ノ理由書ノ中ニアリマス、他ノ控訴院ニ比シト云フノハ廣島
控訴院、名古屋控訴院ノ兩控訴院ニ比較シタノデゴザイマス、東京ノニ比較
シタノデハ無イ、今日東京、大阪ノ兩控訴院ノ事件ノ比較ハ十年間ト云フノ
ハ持合セマセヌカラ御望ミナラバ別ニ差上ゲテモ宜シウゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 今直グニ戴ケマセヌカ

○政府委員(石渡敏一君) 今ハ出來マセヌ

○子爵曾我祐準君 先刻ノ東京控訴院ニ對スル比較ハ御取消シデスカ

○政府委員(石渡敏一君) 私ハ取消シハ致シマセヌ、東京ノヲ御尋デゴザイ
マスカラ申シマシタガ、此法案ニ書キマシタノハ名古屋控訴院、廣島控訴院
ナドニ比較ナシタノデアリマス

○子爵曾我祐準君 東京ヨリ大阪ノ方ガ少イコトニナリマスカ

○政府委員(石渡敏一君) 左様デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 ソレナラバ東京ヘ持ッテ來テモ差支アリマセヌ

○政府委員(石渡敏一君) ソレハ議論ニナリマスカラ、私ハ申上ゲテモ宜シ
ウゴザイマスガ、斯ウ云フ意味デアルト云フト御承知ナ願ヒタイ、他
ノ控訴院ニ比シト云フトハ廣島ナリ名古屋ノ控訴院ニ比シテ均衡ヲ得ヌカ
ラ之ヲ改正スル、斯ウ云フダケノ意味ニドウカ御取リナ願ヒタイト思ヒマス
ソレニ一言申上ゲテ置キタイノハ、唯今ノ武井君ノ御話デス、武井君ノ御説
ニ對シテハ奥山君カラ御説ガアッタ如クニ實ハ鳥取ノ地方裁判所ヨリ大阪ノ
控訴裁判所ニ事件ヲ控訴シテ居ルト、ソレハ廣島ニ移サレタラ非常ニ不便デ
人民ガ苦ムト云フ御話ガゴザイマスガ、少シ話ガ大キ過ギテ分ラナイヤウニ
思フノデゴザイマス、鳥取ト申シマシテモ地方裁判所事務ヲ取扱フ所ハ鳥
取地方裁判所ト米子支部トガゴザイマス、ソレデ先ヅ大體ノ上、カラ申シマス
ルト鳥取ノ方ハ因幡、米子ノ方ハ伯耆トナッテ居リマス、伯耆ノ方ハ寧ロ廣
島ノ方ガ便利デアリマス、此方ノ者ハ文句ハ無イト思ッテ居リマス、武井君
ガ因伯兩地方ト仰シヤイマシタケレドモ伯ノ方ニ付テハ私ハ未ダ聞イタコト
ハ無イ、是モ先ホド奥山君カラ仰セラレタ如ク大阪控訴院ニ鳥取地方裁判所

カラ行キマスノハ、一年二十四件デス、サウシマスルト之ヲ三年平均シテ見マスルト十三件ニナツテ居リマス、一箇月ニ一ツ位デゴザイマスカラ控訴ガ廣島ニ移ッタトシタ所デ、ドウモ人民ガ苦シマウト云フ程ナル重大ナ關係ヲ生ズルモノトハ思ヒマセヌ、ドウモ少シ話ガ誇大デハ無イカシラヌト思ヒマス、ソレト唯今申上デマシタ通りニ若シモ此事件ヲバ此管轄變更ノ法律案ノ廢棄セラル、ト云フコトニナリマスルト大阪控訴院ハ今日ト同ジヤウナ程度ニ居ラナキヤナラヌノデ、事件ノ進歩ヲ計ラウトシ改良ヲ計ラウトスル際ニ當ツテ、此案ガ通過シマセヌト、ドウモ大阪控訴院ハ事件ガ宜シクナイ、裁判ガ宜シクナイ、事件ノ進行ガ宜シクナイト云フ攻撃ニ對シテハドウモ政府ハ責任ヲ取ル譯ニハ行カヌト云フコトヲ豫メ申上ゲテ置キタイト思フノデス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、此採決ハ規則第百八條ニ依リマシテ記名投票ヲ以テ採決ヲ致シマス

○松本鼎君 何ノ投票ヲ致シマスカ、ドウ云フ投票デスカ

○議長(公爵德川家達君) 今議長ガ宣告ヲ致シマス、少々御待チテ願ヒマス、……議長ガ宣告ヲ致シマスカラ御靜肅ニ願ヒマス、全部ガ問題ニナツテ居リマス、原案ヲ可トスル諸君ハ白色票、否トスル諸君ハ青色票、ソレヲ投票函ニ御投入ニ相成ルコトヲ希望イタシマス、氏名點呼ヲ始メマス

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵德川家達君) 開票イタシマス

〔投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵德川家達君) 記名投票ノ結果ヲ申上ゲマス、出席總數二百十七、可トスル者即チ白票ヲ投シタル者百五十五、否トスル者六十二、故ニ原案可決ト認メマス、是ニテ二讀會ハ終リマシタ

○子爵本莊壽巨君 直チニ三讀會ヲ開カレムコトヲ……

〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 直チニ三讀會ヲ開イテ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直チニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ原案可決

〔西村亮吉君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 西村君ハ何デスカ

○西村亮吉君 緊急事件ヲ申述べタウゴザイマス、此際發言ヲ御許シテ願ヒタイ

○議長(公爵德川家達君) ドウ云フコトデスカ

○西村亮吉君 災害地租免除ニ關スル法律案デアリマス、是ハ委員會ヲ未ダ一回モ開カレヌ趣デアリマスガ、此委員會ハ日ヲ限ッテ報告ニナルヤウニシタイト思ヒマスル、右ニ付テ一言申述べタウゴザイマス、宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) サウ致シマスルト西村君ノ唯今御述べニナリマシタノハ特別委員會ノ報告ヲ日ヲ期シテト云フノデアリマスカ

○西村亮吉君 日ヲ期シテ報告ニナリタイ

○議長(公爵德川家達君) サウスルト議事日程ノ變更ニナリマス、議事日程變更ノ動議ニナリマス、議長ハ左様心得テ宜シウゴザイマスカ

○西村亮吉君 ハイ、若シ議事日程ノ變更ヲセナケレバナラヌト云フコトデアリマスレバ一番終ヒニ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 終リノ方ガ宜シウゴザイマセウ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ノ第十二ニ移リマス、衆議院議員選舉法中改正法律案、第一讀會

衆議院議員選舉法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治三十八年二月二十一日

衆議院議長松田正久

貴族院議長公爵德川家達殿
衆議院議員選舉法別表中左ノ通改正ス

長崎縣

長崎市

佐世保市

郡部

一人

一人

六人

對馬 一人
廣島縣 一人
廣島市 一人
尾道市 一人
吳市 一人
郡部 十人

附則

本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵徳川家達君) 御發議ガゴザイマセネバ次ノ第十四ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵徳川家達君) 衆議院議員選舉法中改正法律案、第一讀會
衆議院議員選舉法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治三十八年二月二十一日

衆議院議長松田正久

貴族院議長公爵徳川家達殿
衆議院議員選舉法別表中左ノ通改正ス
別表中末項ヲ削ル

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイトハドナタデゴザイマスカ、何ニ御異議ガ無いノデスカ

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發議ガゴザイマセネバ議事日程第十六ニ移リマス、傳染病豫防法中改正法律案、第一讀會
傳染病豫防法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治三十八年二月二十一日

衆議院議長松田正久

貴族院議長公爵徳川家達殿

傳染病豫防法中左ノ通改正ス
第五條第一項中「傳染病患者アリタル家」ノ下ニ「其ノ他傳染病毒ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル家」ヲ加ヘ同條第二項ヲ削ル

第七條第二項ヲ削ル

第八條 當該吏員ニ於テ必要ト認ムルトキハ一定ノ日時間傳染病患者アリタル家其ノ他傳染病毒ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル家ノ交通ヲ遮斷シ又ハ病毒感染ノ疑アル者ヲ隔離所其ノ他適當ノ場所ニ隔離スルコトヲ得

第十四條中「又ハ管理人」ヲ「管理人又ハ代理者」ニ改ム

第十六條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十六條ノ二 市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ鼠族ノ驅除及之ニ關スル施設ヲ爲スヘシ

第十七條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十七條ノ二 第十九條第七又ハ第八ニ依リ市街村落ノ全部又ハ一部ニ對シ家用水ノ使用ヲ停止シタル場合ニ於テハ市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒ其ノ停止期間家用水ノ供給ヲ爲スヘシ

第十八條第三項中「其ノ地」ヲ「附近」ニ改メ「收容治療セシ」ノ下ニ「メ及病毒感染ノ疑アル者ヲ附近市町村立ノ隔離所ニ入ラシ」ヲ加フ

同條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

船舶汽車ノ檢疫ヲ施行セサル場合ニ於テ船舶汽車中ニ傳染病患者若ハ病毒感染ノ疑アル者アリタルトキハ前二項ノ規定ヲ準用ス在監人出獄スルニ際シ傳染病ニ罹リタル者若ハ病毒感染ノ疑アル者アリタルトキ亦同シ

第十九條第一號ヲ左ノ如ク改ム

一 健康診斷又ハ死體檢案ヲ行フコト

同條第二號中「又」ヲ「若」ニ改メ「遮斷」ノ下ニ「シ又ハ人民ヲ隔離」ヲ加フ

同條第六號ヲ左ノ如ク改ム

六 汽車、船舶、製造所若ハ多人數ノ集合スル場所ニ醫師ノ雇入其ノ他豫防上必要ノ設備ヲ爲サシムルコト

同條第八號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

九 鼠族ノ驅除及之ニ關スル施設ヲ爲サシムルコト

第十九條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十九條ノ二 傳染病毒ニ汚染シタル建物ニシテ消毒方法ノ施行ヲ不適當ト認ムルトキハ地方長官ハ關係市町村會ノ意見ヲ聽キ内務大臣ノ認可ヲ得テ其ノ建物ニ對シ別段ノ處分ヲ行ヒ且其ノ處分ノ爲必要ナル土地ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ損害ヲ受ケタル建物ノ所有者ニ手當金ヲ交付スヘシ
手當金ノ交付並手當金額ノ決定ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條第六號中「交通遮斷」ノ下ニ「隔離」ヲ加フ
同條第七號ノ次ニ左ノ三號ヲ加フ

八 市町村ニ於テ施行スル鼠族ノ驅除及其ノ設施ニ關スル諸

九 第十七條ノ二ニ依レル家用水ノ供給ニ關スル諸費

十 第十九條ノ二ニ依リ交付スヘキ手當金

第二十二條第一號乃至第三號ヲ左ノ如ク改ム

一 第十八條ニ關スル諸費

二 手當金ヲ除ク外第十九條ノ二ニ關スル諸費

三 第十九條第二ニ依レル交通遮斷、隔離ニ關スル諸費、交通遮斷、隔離ハ爲自活シ能ハサル者ノ生活費及隔離所ニ關スル諸費

第二十六條第二項、第二十七條第二項中「滯納處分」ヲ「徵收」ニ改ム

第三十一條 第四條、第五條、第九條、第十條、第十一條第一項、第十二條ニ違背シタル者、交通遮斷ヲ犯シタル者、當該吏員ノ尋問ニ對シ答辯

ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者又ハ醫師ニ請託シテ第三條ノ届出

ヲ爲サシメス若ハ其ノ届出ヲ妨ケタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ

處ス

附則

本法ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發議ガゴザイマセネバ議事日程第十八ニ移

リマスガ、諸君ニ申上ゲマスノヲ落シマシタガ、第十二ノ法案ト第十四ノ法

案ハ同一委員ニ付託シタラドウデアラウカト思ヒマスガ……

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無ケレバ左様取計ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十八、登録税法中改正法律案 第一讀會

登録税法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十八年二月二十一日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長松田正久

登録税法中左ノ通改正ス
第二條第一項第三號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ民法第三十四條ニ依リ設立シタル社團又ハ財團法人カ寄附行爲ニ因リ所有權ヲ取得シタルトキハ不動産價格ノ千分ノ十

○議長(公爵德川家達君) 御發議ガゴザイマセネバ議事日程第廿ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 畜牛結核病豫防法中改正法律案、第一讀會

畜牛結核病豫防法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治三十八年二月二十一日

衆議院議長松田正久

貴族院議長公爵德川家達殿

畜牛結核病豫防法中左ノ通改正ス

第一條 乳用牛、外國種牛及雜種牛ハ重症結核病ノ有無ヲ定ムル爲行政官

廳ニ於テ之ヲ検査ス

第二條 乳用牛、外國種牛及雜種牛ニシテ重症結核病ニ罹リタル疑アル畜

牛ノ検査ハ「ツベルクリン」注射ノ方法ニ依リ之ヲ行フコトヲ得

重症結核病トハ左ノ各項ノ一ニ該當スルモノニシテ「ツベルクリン」ノ注

射ニ因リ攝氏一度五分以上ノ増温ヲ呈シ又ハ呈セサルモ臨床上症狀重大

ナルモノヲ謂フ

一 乳房結核

一 重症肺結核

一 汎發結核

第四條 重症結核病ニ罹リ又ハ其ノ疑アル畜牛ヲ發見シタルトキハ所有

者、管理者又ハ獸醫ニ於テ直ニ之ヲ届出ヘシ

第五條 削除

第六條 重症結核病ニ罹リタル畜牛ハ検査員ノ指揮ニ從ヒ所有者又ハ管理

者ニ於テ之ヲ撲殺スヘシ

第七條 第一項中「之ヲ検査ス」ヲ「之ヲ検査スルコトヲ得」ニ改ム

第九條 重症結核病ニ罹リタル畜牛ノ乳汁、屍體及其ノ部分、畜牛ヲ置キ

タル場所並病毒ニ汚染シ及其ノ疑アル物品ハ検査員ノ指揮ニ從ヒ所有者
又ハ管理者ニ於テ之ヲ燒棄、埋却又ハ消毒スヘシ但シ認可ヲ得タル裝置
ヲ以テ化製スルモノハ此限ニ在ラス

第十條 削除

第十一條 削除

第十三條 第六條、第九條ニ依リ畜牛ヲ撲殺シ又ハ物品ヲ燒棄若ハ埋却シ

タル場合ニ於テハ其ノ評價格ノ二分ノ一ニ當ル手當金ヲ下付ス

畜牛ノ手當金ハ一頭ニ付外國種牛ニ在リテハ百五十圓、雜種牛及內國種

牛ニ在リテハ百圓、六箇月未滿ノ幼牛ニ在リテハ二十五圓ヲ超ユルコト

ヲ得ス物品ノ手當金ハ總テ十圓ヲ超ユルコトヲ得ス

畜牛及物品ノ評價ハ三人以上ノ評價人ヲ選定シテ之ヲ爲サシム但シ其ノ
評價ヲ不當ト認メタルトキハ更ニ三人以上ノ評價人ヲ選定シテ之ヲ爲サ
シム

第十四條第一項第二號中「第五條又ハ」ヲ削ル

同條第二項第二號中「第十條第一項又ハ同條第二項」及第三號中「若ハ第十
一條」ヲ削ル

第十七條中「第五條若ハ」ヲ削ル

第十八條中「第十條第一項」及「若ハ第十一條」ヲ削ル

附則

本法ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員和田彦次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(和田彦次郎君) 本案ハ衆議院ヨリ提出ニ係ルモノデゴザイマシ
テ、政府ハ本案ニハ同意ヲ表シ兼ネマスルノデアリマス、委シイコトハ何レ委
員會ニ於テ説明モ致ス積リデゴザイマスケレドモ、玆ニ簡單ニ本案ニ反對イ
タシマスル所ノ理由ヲ申述ベテ置カウト考ヘマス、本案ハ重症牛ノ取締ノミ
ニシテ輕症牛及疑症ノ牛ハ總テ健康牛同様ニ取扱ヒタイト云フ改正案デゴザ
イマスルガ、若シ此改正案ノ如ク致シマシタラバ結核牛ノ取締ヲ致シマス
ル精神ヲ失ヒ、此恐ルベキ結核牛ノ豫防驅除ヲ致シマスル所ノ目的ハ殆ンド
半バ以上、之ガ爲ニ没却サレルダラウト思ヒマス、依テ斯ノ如キ改正案ニ對シ
テハ御審議ノ末、御否決ニナルコトヲ切望イタシマス、一言イタシテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 次ノ議事日程ニ移リマス、農會法改正法律案、衆
議院提出、第一讀會

農會法改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十八年二月二十一日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長松田正久

農會法

第一條 農會ハ農事ノ改良發達ヲ計ル爲ニ設立スルモノトス

第二條 農會ハ之ヲ法人トス

農會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第三條 農會ハ左ノ三種トス

一 市町村農會

二 郡農會

三 北海道農會又ハ府縣農會

本法ニ依リテ設立シタル農會ニ非サレハ前項ニ掲ケタル名稱ヲ附スルコ
トヲ得ス

第四條 市町村農會ハ市町村ノ區域内ニ於テ耕地、牧場又ハ原野ヲ所有ス

ル者及農業ヲ營ム者ヲ以テ之ヲ組織ス

郡農會ハ郡ノ區域内ニ在ル町村農會ヲ以テ之ヲ組織ス

北海道農會又ハ府縣農會ハ北海道又ハ府縣ノ區域内ニ在ル郡農會及市農

會ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 農會ヲ設立セムトスルトキハ第四條ノ資格ヲ有スル者二分ノ一以
上ノ同意ヲ得會則ヲ定メ町村農會ニ在リテハ郡長、郡農會又ハ市農會ニ
在リテハ地方長官、北海道農會又ハ府縣農會ニ在リテハ農商務大臣ノ認
可ヲ受クヘシ

第六條 地方長官必要ト認ムルトキハ市町村農會又ハ郡農會ノ設立ヲ命ス
ルコトヲ得

農商務大臣必要ト認ムルトキハ北海道農會又ハ府縣農會ノ設立ヲ命スル
コトヲ得

第七條 第四條ノ資格ヲ有スル者ハ農會設立ノ認可アリタル日ヨリ其ノ農
會ニ加入シタルモノト看做ス

第八條 農會ノ經費ハ市町村農會ニ在リテハ其ノ會員ノ負擔トシ其ノ他ノ

農會ニ在リテハ之ヲ組織スル農會ノ負擔トス

第九條 農商務大臣其ノ定ムル所ノ條件ヲ具備スル農會ニ補助金ヲ交付スルコトヲ得

農會補助ノ爲國庫ヨリ支出スル金額ハ一箇年十五萬圓ヲ超ユルコトヲ得ス

第十條 市町村必要ト認ムルトキハ市町村會ノ決議ヲ經テ市町村農會ニ補助ヲ爲スコトヲ得

第十一條 農會ハ行政官廳ノ監督ヲ受クルノ外町村農會ニ在リテハ郡農會、府縣農會又ハ北海道農會ノ指揮ニ、郡農會又ハ市農會ニ在リテハ府縣農會又ハ北海道農會ノ指揮ニ從フヘシ

第十二條 行政官廳ハ農會ノ決議又ハ其ノ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ農會ニ對シ會則ノ變更、役員ノ改選、決議ノ取消又ハ事業ノ停止ヲ命シ其ノ他必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條 町村農會ハ特別ノ事由アル場合ニ限り命令ノ定ムル所ニ依リニ以上ノ郡ノ區域ニ互リテ一ノ郡農會ヲ組織シ若ハ他ノ郡農會ニ加入シ又ハ他ノ町村農會ト合併スルコトヲ得

町村農會ノ會員タルヘキ資格ヲ有スル者ハ特別ノ事由アル場合ニ限り命令ノ定ムル所ニ依リニ以上ノ町村ノ區域ニ互リ一ノ町村農會ヲ組織シ又ハ他ノ町村農會ニ加入スルコトヲ得

市農會ノ會員タルヘキ資格ヲ有スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ他ノ町村農會ニ加入スルコトヲ得

第十四條 北海道、沖繩縣、小笠原島及伊豆七島ノ農會ニ付テハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十五條 本法ニ規定スルモノノ外農會ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○藤田四郎君 此前ノ結核法案ニ付テハ政府ガ御反對ダト云フコトノ御説明ガゴザイマシタガ、本案ニ付キマシテハ別段御申出ガ無イヤウデゴザイマス

ガ、是ハ隨分此條ヲ拜見イタシマスルト、政府ハ地方ニ於テ農會ノ設立ヲ命ズルト云フコトガ出來マスルヤウデゴザイマスガ、サウシテ其會ノ費用ト云フモノハ會員ノ負擔ト云フコトニナツテ居リマスガ、ドコラマデノ方針ニ於テ、若シ之ニ御同意デアルト云フコトナラバ、ドコラマデノ御方針デ之御命ジナサル御考デアリマセウカ、國費多端、地方ノ經費ト云フモノハ非常ニ増シテ居ル今日ニ於キマシテ、更ニ又斯ウ云フモノガ嵩ミマシタナラバ、大ニ地方農民ノ迷惑ニナルコトハアリハシマスマイカ、政府ノ御考ナ一應承ッテ置キタイト思ヒマス

〔政府委員和田彦次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(和田彦次郎君) 唯今ノ御質問ニ御答イタシマスガ、政府ハ農會ヲ組織セシムルニ極メテ必要デアルト考ヘマシタ場合ニ於テ命ジマスル積リデアリマス、出來得ル限り任意ニ組織セシムル方法ヲ採リマスル積リデアリマス

○藤田四郎君 ドウ云フ場合デスカ、一例チ一ツ御話ヲ承リタイト思ヒマス、一例デ宜シウゴザイマス

○政府委員(和田彦次郎君) 例ヘバ一郡内ニ於キマシテ十箇村ノモノニ付キマシテハ、九箇村マデ出來テ、アトノ一箇村ガ出來ヌ爲ニ、他ノ九箇村ノ共同一致イタシテ農會ノ事業ヲ施シマスル場合ニ、一箇村ノ爲ニ妨ゲラレルト云フヤウナ場合ハ此規定ニ依テ組織セシメマスル積リデアリマス

○藤田四郎君 尙伺ヒマスルガ、此組織ハ政府ガ命ズルコトガ出來ル、其經費ハ會員ノ負擔トアリマスルガ、若シ之ヲ拂ヒマセヌトキハ本案ニ付テハ何等ノ規定モアリマセヌガ、契約違反デ訴訟デモシマスルカ、拂ハナンダ者ハ除名スルコトガ出來マスカ

○政府委員(和田彦次郎君) 其邊ニ付キマシテハ農會ニ於キマシテ相當ノ規程ヲ設ケサセル、其規程ヲ農商務省ニ届出ルコトニナリマス、或ハ除名スルト云フ規程ヲ設ケル場合モゴザイマセウシ或ハ之ヲ訴訟スルヤウナ場合ガ無イトモ限リマセヌデゴザイマス、全體ニ於テハ斯ノ如クセヌケレバナラヌト云フコトハ今日ヨリ確定イタシテハ居リマセヌ

○男爵松平正直君 チョット政府委員ニ質問ガアル……

○議長(公爵徳川家達君) 松平男爵……御述ベニナツテハドウデスカ

○男爵松平正直君 議長ノ御許シガ無イカト思ッテ待ッテ居リマシタ

○議長(公爵德川家達君) 御許申シタ積リデアリマス

○男爵松平正直君 此農會法ハ衆議院提出デアアル、政府委員ガ御答ニナル所ヲ見マス、政府ハ十分同意ヲ表セラレタモノト思ハレマス、就キマシテハ御尋ナ致シタイ簡條ハデス、十一條ノ「農會ハ行政官廳ノ監督ヲ受クルノ外町村農會ニ在リテハ郡農會、府縣農會又ハ北海道農會ノ指揮ニ、郡農會又ハ市農會ニ在リテハ府縣農會又ハ北海道農會ノ指揮ニ從フヘシ」此指揮即チ命令ト見マスル、農會ガ農會ニドウ云フ命令指揮ヲシマスカ、又命令指揮ヲセナケレバナラヌカト云フコトハ何レノ點ニアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(和田彦次郎君) 御答イタシマス、御承知ノ通り現今ノ農會ハ系統的ノ組織ニナツテ居リマス、市町村農會ガアリマシテ其上ニ郡農會ガゴザイマス、郡農會ノ上ニ縣農會ガゴザイマス、斯様ナ工合ニ系統的ノ組織ガ出來テ居リマスルノデ、一縣内ノ全般ノ改良ヲ圖リタイト云フ場合ニハ縣農會ニ於キマシテ、大體ノ方針ヲ規定イタシテ斯ノ如ク各郡共ニシタイ、斯ウ云フ事柄ガ往々アルノデ、之ト同様ニ又一段低クナリマシテハ、本郡ハ全般斯ノ如ク改良シタイ、其場合ニ於キマシテハ各村ニ向ツテ郡農會ヨリ斯ク／＼斯ク／＼ニシヤウ、斯様ニ致シタイカラ各村トモ斯様ニシヤウデハナハカト云フ様ナ場合ガゴザイマス、其場合ヲ指シタ言葉デゴザイマシテ「指揮」ト云フ文字ガ或ハ當倅ラヌカモ知レヌ、此解釋上デハ如何ニモ命令的ニナルカノ思召モアルカ存ジマセヌガ、政府ニ於キマシテハ大體右ノ主意ニ基イテ敢テ不同意ヲ唱ヘマセヌ、ソレ等ノ文字等ニ付キマシテハ然ルベク委員會モゴザイマセウデ御修正下サレタヲ、政府モ進ンデ相當ノ修正ニハ應ジマスル積リデゴザイマス

○藤田四郎君 是マデ農會補助ト致シマシテ年々十五萬圓補助イタシマシタ法律ガタシカアリマシタト思ヒマスガ、本法ニ依リマシテ新ニ十五萬圓補助セラル、コトニナリマス、二重ニ渡サレル様ニナリマスカ、前トノ關係ハドウ云フコトニナリマスカ、伺ヒタウゴザイマス

○政府委員(和田彦次郎君) 農會ニ對スル補助金ハ現今ノ所デハ別ニ廢スルト云フ考モ持ツテ居リマセヌ、各地ノ農會ガ十分ニ發達イタシマシテ農會ニ要スル經費ヲ各々進ンデ支出スルト云フ様ナ場合ニ至リ、若クハ現今ヨリモ一層農會員ガ農會ノ必要ヲ感ズル場合ニ至リマシタナラバ、補助金ハ或ハ廢スル時ガ來ラウト思ヒマス、今日ノ所デハ矢張り従前ノ例ニ依テ致ス積リデ

ゴザイマス、併シ前年ト本年度デハ餘ホド補助ノ額モ減ジテ居リマス、是ハ畢竟總テ財務上ノ關係カラデゴザイマス、十五萬圓ヲ範圍トシテゴザイマスケレドモ、年ニ依テ一般ノ國家經濟ノ上カラシテ、或ハ減ジ或ハ増ス場合モアラウト考ヘマス

○議長(公爵德川家達君) 次ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第二十四、外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル法律案、第一讀會ノ續、特別委員長報告……千坂高雅君ニ伺ヒマスガ、特別委員長ガ今席ニ居リマセヌガ、御報告ニナリマスカ

○千坂高雅君 イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 副委員長……
外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル法律案
右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十八年二月二十一日
右特別委員長
伯爵坊城 俊章

貴族院議長公爵德川家達殿

(特別委員ノ修正ニ係ル條ノミヲ載録ス)

第一條 流通セシムルノ目的ヲ以テ外國ニ於テノ流通スル金銀貨、紙幣、銀行券、帝國官府發行ノ證券ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ重懲役又ハ輕懲役ニ處ス
金銀貨以外ノ硬貨ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ輕懲役又ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二條 流通セシムルノ目的ヲ以テ偽造又ハ變造ニ係ル前條ニ記載シタル物ヲ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第三條 情ヲ知テ偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物ヲ行使シ若ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル者ハ輕懲役又ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

收得シタル後其ノ偽造又ハ變造ナルコトヲ知テ行使シ若ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授付シタル者ハ其ノ名價三倍以下ノ罰金ニ處ス但シ二圓以下ニ降スコトヲ得ス

第四條 第一條ノ偽造又ハ變造ノ用ニ供シ若ハ供セシムルノ目的ヲ以テ器

械若ハ原料ヲ製造シ、授受シ若ハ準備シ又ハ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第八條 本法ニ規定シタル罪ヲ犯シタル者偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物ノ未タ行使セラレサル前又ハ第五條ニ記載シタル物ノ未タ授付セラレサル前ニ於テ官ニ自首シタルトキハ主刑ヲ免除スルコトヲ得

〔千坂高雅君演壇ニ登ル〕

○千坂高雅君 委員長坊城伯ガ席ニ居ラレマセヌデ私ガ代ッテ御報告ヲ致シマス、此委員會ハ去ヌル十五日並一昨々ノ二十一日兩度開キマシタ、詰ル所此先ニ承諾ナ與ヘラレタル勅令ト大概同ジコトデゴザイマスルガ、衆議院ノ方デハ勅令ノ所ヲ諸所變ヘテ出シテ居リマスガ、其變更シタ所ヲ能ク吟味シテ見マスト云フト、御手許ニ上ゲテ置キマシタル如ク修正ノ方ガ總テ完全ト見込ムノデゴザイマス、第一條「流通セシムルノ目的ヲ以テ」ト云フコトニ致シマスレバ、此區域ガ廣クナリマシテ、未ダ行使セズトモ其流通スル目的デ拵ヘツ、アツタモノヲ押ヘルコトガ出來ルノデアリマス、所デ行使ト云フ文字ニ至ッテ初メテ罪ヲ問フコトニ至リマス云フト、大キナ罪ガ現在アツタトスル朝鮮カニ、ソレハ何所地方カ知ラヌケレドモ、マア澤山贋造ノ、行使スル紙幣ヲ拵ヘテ輸出スルト云フヤウナコトガアツテ、ドウモ行使シナケレバ罪ニナラヌト云フコトデハ十分ニ押ヘルコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトデ元ト勅令ニアル通り流通スル目的ト云フコトヲ入レタノデゴザイマス、ソレカラ二條ニ於テモ三條ニ於テモ其他ノ所ハ同ジ義デゴザイマス、ソレカラ此三條ノ二項ニ於テ「價格ニ倍」ト衆議院デハ致シマシタガ、實ハ偽造ノ貨幣ニ價格ト云フコトガ有ルヤ無イヤ種々ノ疑問モ出ル譯デゴザイマスカラ、勅令ニアル如ク名價、所謂一圓ト書イタモノハ一圓、十圓ト書イタモノハ十圓、サウシテ斯カルコトハ取締ルニ成ルタケ嚴重ノ方ガ宜イト云フコトデ、二倍ト衆議院デ出シタノヲ矢張り勅令ノ如ク三倍以下ト致シタノデゴザイマス、ソレカラ第八條ニ於キマシテ第八條ノ末項「自首シタルトキハ刑ヲ全免ス」ト衆議院デハ出シテ來マシタ、所ガ勅令デハ「自首シタルモノハ主刑ヲ免スルコトヲ得」ト斯ウナッテ居リマス、ソレデ是ハドウモ勅令案ノ方ガ極宜カラウ、ナゼナレバナソボ自首シタトモ附加刑其他ノコトハ情狀ヲ酌量シテ罰シナケレバ、自首スルト無罪ニナルト云フコトニシマスレバ、セッセト拵ヘテ、サウシテ危イト云フトキニ自首スルト云フヤウナ弊害ヲ生ズルコトモアリマセウ、是ハ勅令ノ「主刑ヲ免スルコトヲ得」ト直シタ方ガ適當デアル、詰リ衆議院案ノ方ヲ見マス云フト五條ト九條ト云フモノハ勅令ヨリ増シタ様ナ譯ニナッテ居リマス、是ハ衆議院ノ方デ此條ヲ増シタ方ガ誠ニ確實デ、此方ガ不備ヲ補ッタモノト見マスル、ソレデ勅令ニアツタ部類ハ勅令ノ文ニ直シテ衆議院ノ方デハ六條九條ノ二條ヲ活シテ全會一致ヲ以テ此修正案ヲ可決イタシマシタ次第デゴザイマス、此段御報告イタシマス、就テ此案ハ唯先刻勅令ノ事後承諾ヲ御與ヘナサレタト同様ノ案デ、唯二箇條殖エタト云フダケデゴザイマスカラ、極簡單ナ案デモゴザイマスルシ、ドウカ讀會省略デ可決アラムコトヲ希望イタシマス

トモアリマセウ、是ハ勅令ノ「主刑ヲ免スルコトヲ得」ト直シタ方ガ適當デアル、詰リ衆議院案ノ方ヲ見マス云フト五條ト九條ト云フモノハ勅令ヨリ増シタ様ナ譯ニナッテ居リマス、是ハ衆議院ノ方デ此條ヲ増シタ方ガ誠ニ確實デ、此方ガ不備ヲ補ッタモノト見マスル、ソレデ勅令ニアツタ部類ハ勅令ノ文ニ直シテ衆議院ノ方デハ六條九條ノ二條ヲ活シテ全會一致ヲ以テ此修正案ヲ可決イタシマシタ次第デゴザイマス、此段御報告イタシマス、就テ此案ハ唯先刻勅令ノ事後承諾ヲ御與ヘナサレタト同様ノ案デ、唯二箇條殖エタト云フダケデゴザイマスカラ、極簡單ナ案デモゴザイマスルシ、ドウカ讀會省略デ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵萬里小路通房君 讀會省略ニ贊成

○子爵堤功長君 贊成

○伊澤修二君 贊成

○子爵本莊壽巨君 贊成

○子爵青木信光君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ニハ定規ノ贊成ガアツタト認メマス、讀會省略ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、特別委員會ノ決議通り御異存ゴザイマセムカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十五ニ移リマス、土地收用法中改正法律案、第一讀會ノ續、特別委員長報告、沖男爵

土地收用法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月二十日

右特別委員長

男爵沖 守 固

貴族院議長公爵德川家達殿

〔男爵沖守固君演壇ニ登ル〕

○男爵沖守固君 土地收用法中改正法律案委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス
委員會ハ一兩日前ニ開キマシテ篤ト審議ヲ盡シマシテゴザンスルガ、審議ノ
結果、土地收用法案中ニ此改正ヲ加ヘマスルコトハ甚ダ不穩當デアルト云フ
コトデゴザイマス、併シ或ル場合ニ於キマシテハ事實此修正ヲ要スルコトガ
アルカモ知レマセヌ、是ハ水利組合條例ヲ改正シマシテ其中デ此缺點ヲ補フ
ト云フコトニナリマシタナラバ、實際差支ハ無カラウ、兎モ角モ土地收用法中
ニ於テ此改正ヲ加ヘマスルコトハ不穩當デアルト云フコトデ、殆ト全會一致
ヲ以テ否決ニナリマシテゴザイマス、且亦水利組合條例ヲ改正シマシテ此缺
點ヲ補ヒマスコトハ政府ニ於テモ同意ヲ表セラレテ、續イテ調査ニ掛ラレル
積リデゴザイマス右ノ次第デゴザイマスカラ、此法案ハ速ニ否決ニナリマス
ルヤウニ希望イタシマス

○木村誓太郎君 政府委員ニ質問ヲ致シマス、此收用法ノ改正ト云フモノハ
實地ニ於キマシテハ非常ニ必要ヲ感ズルノデアリマシテ或ル場合ニ於キマシ
テハ僅ノ水路ガ決潰ヲ致シマシテソレガ爲ニ他ノ土地ヲ使用スルコトガ出來
ズシテ數百町歩ノ土地ヲ旱損スルコトガ、間アルノデゴザイマス、然ルニ此
急施ノ場合ニ於キマシテ他人ノ土地ヲ使用スルコトノ出來ル便法ノ無イト云
フコトハ誠ニ不便ヲ感ジテ居ルコトデゴザイマス、今委員長ヨリ御述ベニナ
ル所ニ依リマス、政府ニ於キマシテモ其事柄ハ贊成デアアルガ、此土地收用
法ニ之ヲ加ヘルト云フコトハ不贊成デアルト云フ意見ノ如クニ聽取リマシタ
ガ、果シテ政府ハ此意思ヲ採用サレテ他日水利組合法ニデモ此條項ヲ加ヘル
ト云フ御意見ガ有ルノデゴザイマスカ、一應此事ヲ確メテ置キタイノデゴザ
イマス

〔政府委員大塚勝太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(大塚勝太郎君) 唯今ノ御尋ニ付キマシテ御答ヲ致シマスガ、政
府ガ此改正案ニ反對ヲ致シマシタノハ此土地收用法ニハ御承知ノ通り第二條
ニ於キマシテ諸種ノ公共事業ニ對シマスル適用ヲ規定イタシテアルノデゴザ
イマス、而シテ土地ヲ收用イタシマスニ付キマシテハ、ソレノ御承知ノ通り
ノ手續ガゴザイマシテ、期限ヲ限ッテ土地ヲ使用サスル場合ハ土地收用
法第十五條ニ於キマシテ特ニ其場合ヲ諸種ノ事業ニ付テ限ッテアリマスノデ
ゴザイマス、即チ御承知アラセラレマス通り此天災地變ノ場合ノミニ限ッテア
リマスノデゴザイマス、然ルニ今議題ニナッテ居リマス所ノ修正ヲ十五條中ニ

加ヘルコトニナリマスルト、獨リ用水ニ關シマシテ天災地變ノ場合以外ニ此
ノ土地ノ使用ヲ許スト云フヤウナ結果ニ相成リマスノデゴザイマス、獨リ用
水ニ關シマシテ天災地變ノ場合ノ外、急施ヲ要シマスル場合ニモ土地ノ收用
ヲ郡長ノ認定ヲ以テ許シマスルト云フコトハ、他ノ土地收用法ノ適用ヲ受ケマ
ス所ノ多クノ事業ニ對シマシテ頗ル權衡ヲ失シマシテ、甚ダ不倫ナル結果ヲ
生ズルト云フ虞ガアリマスノデゴザイマス、其點ニ於キマシテ政府ハ此土地
收用法ノ本案ノ改正ニハ反對ヲ致シマス譯デゴザイマス、而シテ又御尋ノ此
規定ノ要否ニ付キマシテハ用惡水路等ニ關係イタシマスコトハ何レ水利法ノ
關係ニ於キマシテ篤ト調査モシ、又規定ヲスベキ事柄デアリマスカラシテ、
特ニ其必要ガゴザイマスレバ此水利組合條例ノ如キ水利ニ關係イタシマシタ
所ノ法令中ニ條章ヲ設ケマスルノガ適當ト考ヘテ居リマス、即チ例ヲ申上ゲ
マス、現在ノ法制等ニ於キマシテ例ヘバ河川ニ關スル工事ニ付テ色々土地
其他物件ノ徵收ノ途ヲ設ケテゴザイマスルガ、是ハ河川ニ關シマスル所ノ特
別法規タル河川法ノ條章ニ於キマシテ委シキ規定ヲ設ケマシテ其規定中ニ特
別ニ其事柄ヲ規定イタシテ置キマスノデゴザイマス、即チ此用水ニ付キマシ
テ事實スル修正ヲ必要ト致シマスルナラバ用水、即チ水利ニ關係イタシマシ
タル所ノ法規中ニ其條章ヲ設クルガ至當ト云フ考デゴザイマス、此段御答ヲ
致シテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ
起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十六ニ移リマス、國有土地森林原野
下展申請期間ニ關スル法律案、第一讀會ノ續、特別委員長報告、副委員長永
井子爵

國有土地森林原野下展申請期間ニ關スル法律案
右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月二十二日

右特別委員副委員長

子爵永井 尙敏

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵永井尙敏君演壇ニ登ル〕

○子爵永井尙敏君 唯今議題ニ上ボツテ居リマスル國有土地森林原野下戻申請期限ニ關スル法律案、此委員長ニハ子爵鍋島直彬君ガ御當選ニナツテ居リマスノデアリマス爲ニ同君カラ委員會ノ結果ヲ御報告ニナルベキ筈デアリマシタ所ガ、同君ガ御所勞ノ爲ニ缺席サレマシタ、依テ本員カラ代ッテ今日御報告ヲ申上ゲマス、本案ノ委員會ハ昨二十二日開會ヲ致シマシテ政府委員モ出席ヲ致サレマシテ、サウシテ政府ノ意見モ委員會ニ於テ聴取り、又委員カラモ政府委員ニ對シテ質問ヲ致サレマシタ、ソレカラ委員中ニ於テモ御意見モ格別ノコトモゴザイマセヌデ、否決ノ御意見ヲ御出シニナツタ方ガゴザイマシテ、ソレニ付テ御贊成ノ諸君モアリマシテ、遂ニ本案ハ否決スベキモノデアルト云フコトノ御意見ガ多數デゴザイマシタ、政府ノ意見ハ一讀會ノ際ニ政府委員ガ此演壇ニ於テ述ベラレマシタ通り十分ニ盡サレテ居ルヤウニ本員ハ考ヘマスデゴザイマスルカラ、再ヒ此席ニ於テ本日私カラハ申上ゲマセヌ、又アトヨリ政府委員カラ述ベラレルコトト考ヘマスデゴザイマス、併シ委員會ノ時ニ政府委員カラシテ請願ノ總數ノコトニ付テ承ツタコトガゴザイマスカラチヨット御參考マデニ申上ゲマス、是ハ昨年十一月ノ十五日ノ調ベデゴザイマス……マデノ分デゴザイマス、此下戻ニ關スル請願ノ總數ノ數ガ二萬六百二十二件、ソレカラ下戻處分濟ノ分、是ガ一千二百六十二件、ソレカラ證據不十分其他ノ理由デ却下ニナツタ分ガ一萬九千零五十一件、ソレカラ處分濟デマダナイ分、未處分ノ分デゴザイマス、是ガ三百二件、斯ウ云フコトヲ委員ノ質問ニ對シテ政府委員カラ答ヘラレタ點ガゴザイマス、ソレデ此未處分ノ分モ段々ト調査濟トナツテ本年度ノ中ニハ全部審査モ決了シ處分ガソレ／＼付クヤウナコトニナルダラウト云フ話モ承リマシタ、委員會ニ於キマシテハ本案ノ、本案ニ付キマシテハ政府ニ於テ地租改正當時カラ二十三年マデノ間、理由正シイモノハソレ／＼處分ナシテ下戻ノ手續ヲ盡サレテ居リ、且ツ段々其後訓令ダトカ或ハ省令ヲ發布セラレマシテ此取扱ノコトニ付テハ十分ニ注意ノ上ニモ注意ヲ盡サレ、遂ニ三十二年ニ御承知ノ通り下戻申請ニ關スル法律案ガ即チ三十二年ノ十二月三十一日マデナ申請期限トスル原案ヲ政府ハ帝國議會ニ提出サレ、其當時衆議院ノ修正ニテ現行法ノ三十二年六月三十日ノ期限マデ申請ナスルコトノ出來ル法律ガ出來上ッテ今

日アルノデアリマス、唯今マデ述ベマシタヤウナ工合デ段々此事ニ付テハ十分ニ注意ノ上ニモ注意ヲ盡サレテ、政府ニ於テ執行ハレテ居ラレタ其上ニ、此三十八年二月三十一日マデ此申請期限ヲ延長スルト云フコトハ、ドウモ必要ガ無イト云フ考デアリマス、成立ツタ場合ニ於テハ非常ナル差支モ起ルヤウニ思ハレマスル、其外此期限ヲ、申請期限ヲ延長スルコトニナリマシテハ、隨分人民ノ方ニ於テモ迷惑ナスルヤウナ弊害モ無イトモ限ラマ次第デアラウト思ハレルノデアリマス、委員會ニ於テハ本案ヲ否決スベキモノデアルト云フコトノ否決説ガ成立チマシテ、遂ニ本案ハ否決スベキモノデアルト云フコトニ確定イタシタ次第デゴザイマス、就キマシテハ何卒委員會ノ報告通り諸君ニ於カレマシテモ御否決ニナラムコトヲ希望スル次第デアリマス、チヨイト申添ヘテ置キマスルガ、此案ハ衆議院ノ提出案デアアリマスルケレドモ、政府委員ニ於キマシテハ衆議院ノ委員會ニモ出席サレマシテ、逐一委員會ノ事情等モ御承知デアルヤウニ思ハレマス、ソレカラ又此法律案ノ一般ノ色／＼ノ事柄ニ付テモ政府委員ノ方ガ十分ニ御承知デアルヤウニ考ヘマスノデゴザイマスカラ、ドウカ御質問等ガゴザイマシタナラバ政府委員ニ御尋ナ願ヒタウ存ジマス、此否決説ノ提出ノコトニ付キマシテハ又提出者カラソレ／＼……私ハ訥辯デ意ヲ盡スコトガ出來マセヌカラ其意ノ在ル所ヲ又述ベラレルダラウト考ヘマス、委員會ノ結果ヲ概略御報告ヲ申上ゲテ置キマス

○子爵谷干城君 チヨット政府委員ニドウゾ單簡ニ御辯明ヲ請ヒタイ

〔政府委員和田彦次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(和田彦次郎君) 本案ニ付キマシテハ第一讀會ノ時ニ於キマシテ大略政府ノ意思ヲ明ニ致シタ積リデゴザイマシタ、唯今谷子爵ヨリノ御請求モゴザイマスカラ、簡單ニ本案ニ反對ノ趣旨ヲ述ベマス、此國有林野ノ下戻ノコトニ付キマシテハ地租改正ノ當時ヨリ明治二十三年マデ引續イテ此誤リノアルモノハ誤リナシテ民有地ナルモノハ國有地ノ方ヲ割イテ民有地ニ換ヘル手續ヲ致シ來ツテ居リマシタ、此三十四年既ニ其事ヲ行ツテ居リマシタケレドモ、尙誤リガアリ、尙遺漏ガアツテハ他日遺憾ヲ感ジマスカラ、二十三年ニ至リマシテ普ク衆庶ニ知ラシムル爲ニ省令マデナ發シテ萬一誤リガアルモノガアルナラバ政府ヘ之ヲ申請セヨト云フコトヲ注意イタシマシタ、ソレデ二十三年後殆ド八箇年ヲ經過イタシマシタ、三十年ニ至リマシテ尙又政府ハ遺漏ノ無イトコトヲ期スルガ爲ニ再ヒ省令ヲ發シマシテ、萬一地租改正ノ當時

ニ於テ誤謬ノ結果トシテ民有地ノ官有地ニ編入セラレテ居ルヤウナ場所ガアルナラバ證據ヲ具ヘテ政府ニ之ヲ申請セヨト云フコトヲ三十年ニ至ッテ再ビ又省令ヲ發シマシタ、御承知ノ如ク三十年後ニ於キマシテハ實ニ此國有林野ヲ從前ノ如クニシテ置クコトガ出來マセヌ、是非コレハ一日モ早ク整理ヲ致シマシテ國ノ財源ト致シテ國家ノ經營上國家ノ財源ト致スコトガ必要ト認メマシタガ爲ニ、此國有林ニ付キマシテハ經營ヲ致シ來ッテ居ルノデゴザイマス、ソレ等ノコトヲ爲シマスルノニハ此民有地ノ下戻ノコトヲ早ク決シテ置キマセヌト、ソレガ混雜イタシマスルト、非常ニ此國有林野ノ經營ニ差支テ來シマス、ソレ故ニ三十年ニ再ビ出シマシタニモ拘ラズ、又三十二年ニ至ッテ法律ヲ拵ヘマシテ、三十三年ノ六月ノ三十日マデノ期限ヲ定メテ申請セヨト云フコトノ法律ヲ發布イタシマシタ、其期間ハ既ニ過去ッテ數年前ニナッテ居リマス、然ルニ突然本年ニ至ッテ又之ガ延期ヲセイト云フコトガ衆議院カラ出マシタ、政府ニハ左様ナ必要ハ認メマセヌ、ノミナラズ一方ニ於テ國有林ノ經營ヲ致シマスル上ニ此上延期イタシマシテハ益々差支テ來シマスル、絶對ニ此案ニ對シテハ反對ヲ表シマス次第デゴザイマス

○子爵谷干城君 否決ニ贊成デゴザイマス、政府ノ答辯ハ明瞭デアアル
○議長(公爵德川家達君) 別段御發言ガゴザイマセネバ採決ヲ致シマス、二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十七ニ移リマス、裁判所構成法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、特別委員長本莊子爵

裁判所構成法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月二十二日

右特別委員長

子爵本莊 壽巨

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵本莊壽巨君演壇ニ登ル〕

○子爵本莊壽巨君 裁判所構成法中ノ改正法律案ノ委員會ノ經過並結果ヲ御報告ニ及ビマス、此法案ニ付キマシテハ速記ヲ用キマシテ委員中ヨリモ種々質問ガゴザイマシテ、十分審議ヲ盡シマシタ末可決イタシマシタ譯デゴザイマス、此法案ノ大體ハ區裁判所ノ事務ヲ擴張スル譯デゴザイマシテ、是マデ區裁判所ノ民事取扱ハ百圓マデノモノデゴザイマシタノヲ二百圓ト改メマスルコトト、又刑事ニ於キマシテハ本刑ガ二箇月以下ニシテ罰金ヲ五十圓附加スルモノト、附加セザルモノトゴザイマスルノヲ本刑ヲ六箇月以下ト致シマシテ二百圓以下ノ罰金ヲ併科又ハ附加スルモノト改メマスルコト又本刑ハ百圓以下ノ罰金ヲ二百圓ト改メマスルコトト又此竊盜罪ノヤウナモノハ本刑ハ

成ルホド二箇月以上四年以下デゴザイマスケレドモ、豫審ヲ經ザル竊盜事件ノ如キハ既ニ被告ノ自白モゴザイマシテ證據モ十分具備シテ居リマシテ、モウ一見犯罪ノ證據ガ十分具備シテ居ルモノハ地方裁判所ノ合議裁判ヲ用キズシテ區裁判所ノ單獨判事ニ之ヲサセルト云フコトガ是ガ改正ノ大體デゴザイマス、斯クノ通りニ改正ニ成リマスレバ司法事務モ敏活ニモナリマスルシ、又一方ニハ被告人ヲ徒ラニ獄舎ニ繋イデ置クト云フヤウナ憂モ少クナリマシテ、從ッテ經費モ減ジマスカラ至極結構ナ改正ト認メラレテ之ヲ可決イタシマシタ譯デアリマス、何卒速ニ御贊成可決アラムコトヲ希望イタシマス、又此法案ハ唯今申上ゲマシタ通りニ簡單ナ改正法案デアリマスカラ、讀會ノ順序ヲ省略シテ直チニ確定議トナスト云フ動議モ併セテ提出イタシマスカラ、是亦ドウカ御贊成ヲ願ヒマス

○子爵黑田和志君 讀會省略ニ贊成

○馬屋原二郎君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 本莊子爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ贊成者ガアッタト認メマス、讀會省略ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ原案可決

○西村亮吉君 私ハ災害地租免除ニ關スル法律案……

○議長(公爵德川家達君) 御靜肅ニ願ヒマス

○西村亮吉君 委員長ノ報告ニ日限ヲ定メルコトガ最モ必要ト認メマスニ付
キマシテ右ノ報告ノ日限ヲ定メルコトニ付イテ意見ヲ述べタウゴザイマス、
議事日程ノ追加ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西村君ノ議事日程ノ追加ノ說ニハ賛成者ガアリマ
スカラ決テ採リマス、議事日程追加ニ御異存ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無ケレバ追加スルコトニ致シマス

○西村亮吉君 簡單デゴザイマスカラ此所デ申シマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○西村亮吉君 此災害地租免除ニ關スル法律案ハ去ル十日ニ貴族院デ特別
委員ヲ御選ビニナリマシテ、正副委員長ハ十三日ニ選定ニ相成リマシタ、爾來
十餘日ヲ經過スルモ未ダ報告ニナリマセヌ、今日ハ遅クモ報告スベキ時デア
リマシテ、非常特別税ノ如キ多分ノ負擔ヲモ辭セズ納税ナスル今日ニナッテ
居リマスカラ、地方ノ利害ニ關スル問題ヲ貴族院ハ拋棄シテ顧ミナイ、不親
切千萬デアル、ト云フ非難ヲ受クルヤウニ相成ッテハ甚ダ遺憾デアリマスル、
就キマシテハ此委員會ノ、議長ヘノ報告ヲ明二十四日限リ報告スルコトニ相
成リタウゴザイマス、此段申シマス

○子爵曾我祐準君 西村君ノ御議論ハ誠ニ至當ナコトト考ヘマスカラ賛成ヲ
致シマス、ドウカ諸君ノ御賛成ヲ希ヒマス

○子爵谷干城君 賛成

〔賛成ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 西村君ニ確メマスガ、報告ヲ明二十四日マデニシ
ロト云フコトデスカ

○西村亮吉君 二十四日ノ日限リ議長ニ報告スルコトニ……

○議長(公爵德川家達君) 西村君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 多數ト認メマス、先キニ御委託ニナリマシタ特別
委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス前ニ、一應諸君ニ申上ゲテ置キタイコトハ會
期モ追々切迫ニ相成リマシタカラ正副委員長ノ選舉ハ成ルベク速ニ行ハレム

コトヲ希望シマス、書記官ナシテ朗讀イタサセマス

〔小原書記官朗讀〕

明治二十九年法律第六十三號ノ有効期間ニ關スル法律案特別委員

侯爵黒田 長成君 伯爵正親町 實正君 子爵曾我 祐準君

名村 泰藏君 男爵有地 品之允君 男爵紀 俊秀君

武井 守正君 鮫島 武之助君 磯邊 包義君

居留民團法案特別委員

伯爵柳澤 保惠君 子爵井上 勝君 子爵岡部 長職君

山 脇 玄君 男爵小早川 四郎君 男爵若王子 文健君

目賀田 種太郎君 室田 義文君 佐々木嘉太郎君

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案特別委員

伯爵宗 重 望君 子爵樋口 誠康君 辻 新次君

男爵德川 厚君 男爵沖 守固君 渡 正元君

山田 爲暄君 伊澤 修二君 辰巳 樗太郎君

衆議院議員選舉法中改正法律案外一件特別委員

伯爵廣澤 金次郎君 男爵小畑 美稻君 男爵小澤 武雄君

男爵寺島 秋介君 男爵安藤 直行君 男爵平野 長祥君

男爵北大路 實信君 下條 正雄君 澤原 俊雄君

傳染病豫防法中改正法律案特別委員

侯爵佐竹 義生君 子爵牧野 貞寧君 子爵酒井 忠亮君

男爵野村 素介君 男爵石黒 忠憲君 男爵藤村 紫朗君

男爵眞田 幸世君 男爵諫早 家崇君 細谷 巖太郎君

登録稅法中改正法律案特別委員

子爵大宮 以季君 子爵梅小路 定行君 男爵原田 一道君

男爵四條 隆平君 男爵千田 貞曉君 古市 公威君

折田 平内君 廣海 二三郎君 桑田 熊藏君

畜牛結核病豫防法中改正法律案特別委員

伯爵島津 忠亮君 伯爵松木 宗隆君 子爵堀河 護磨君

男爵新田 忠純君 男爵青山 元君 三宅 秀君

馬屋原 彰君 村井 彌兵衛君 内藤 宇兵衛君

農會法改正法律案特別委員

子爵青山 幸宜君 子爵板倉 勝達君 男爵松平 正直君

柴原 和君 前田 正名君 千坂 高雅君

藤田 四郎君 安廣伴一郎君 鎌田 勝太郎君

○議長(公爵徳川家達君) 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案ノ特別委員ノ氏名ハ今誤リガゴザイマシタカラ、更ニ之ヲ讀マセマス

〔小原書記官朗讀〕

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案特別委員

伯爵宗 重 望君 子爵樋口 誠 康君 辻 新 次君

男爵徳川 厚君 男爵沖 守 固君 渡 正 元君

宮島 誠一郎君 伊澤 修二君 辰巳 樽太郎君

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ唯今申上ゲ兼ネマスカラ確定次第
アトカラ御通知ニ及ビマス、是デ今日ハ散會イタシマス

午後零時三十七分散會